

幼兒の教育

號九第 號月九 卷九十二第



東京女子高等師範學院校內
市幼稚園協議會

廣島高等
師範學校教授
支那博士

久保良英
先生新著

兒童研究所紀要卷十二

大冊洋金一百二十円
全冊頁金三十三円
定額八拾五圓
送金三十圓

性行検査法の試み
作業に現はれたス注意の形に就て

「文部省博士、文部省士
久保良英

個性調査の情意的一面
児童の身體的及精神的に發育
に及ぼす季節的影響の研究

迫田マツ
内田勇三郎
桐原葆見

精神發達に應ずる轉導及應時間の變化
尋常小學校に於ける算術應用問題の分類

文學士
久保良英

一般智能検査の再検査成績
入學當初智能検査に關する研究的考察一二
青年期に於ける自己意識に就て

文學士
久保良英

増田幸一
小林一滋

兒童研究所紀要

智能検査用具

B A式

大判一組
各冊參全二冊
定價八錢
型紙箱入

本用紙は久保先生の考案による兒童智能
體的検査用具。

1 2 3 4 合輯
5 6 7 合輯
8 9 10 合輯

洋銀一背皮定價九圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢
洋銀一背皮定價五圓五拾錢

東京市牛込区地番九卅町良甲
電話三三三三牛込駅中行發所

廣島高等
範學校教授

文學博士 久保良英先生新著

四六判全一冊洋銀
定價金貳圓 送料金十八錢

新刊

愛兒良教の教養

本書の全文
は悉く眞摯
なる學者の
兒童教養實
驗記錄で有

久保博士は本書の序の一節に「良毅君は僅か九歳の年齢を享けて其餘りに短き生涯を終られた。」とある如く、君は其生前博士の兒童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新にして以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を大なる學者的心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度い」と敬虔に威する御願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一の教育家及師父に裨益する所多しと信ずる。

文學博士

好評赫々

久保良英著

三版

●簡單なる行動篇

復雜なる行動篇

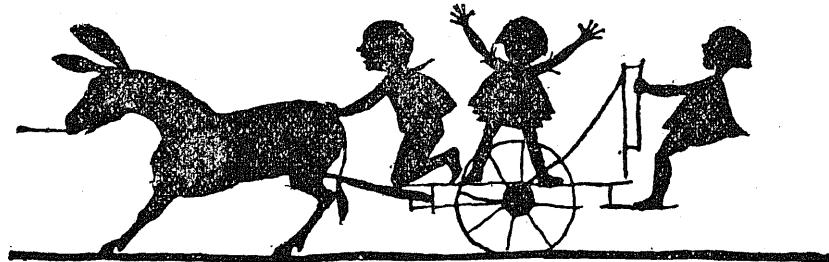
實驗心理學精義

菊判全一冊紙貳八百頁
定價金六圓 送料金廿七錢

定價金六圓 送料金廿七錢

久保博士は前篇簡單なる行動篇は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し、その編纂方法は質的及量的兩者交亘正なる學者の立場より世界の心理學の検討に餘念なく實驗的心理學の最新學說の充満せることは言を俟たず、且つ本著述の最も特異な点で、兒童教養家、軍隊、警察等の外文檢定試験者の必讀すべき資料工部に於ける點である。

發行所 東京市牛込区地番九卅町良甲 中文書店 振替東京三番四八七二五三三込半電話番



日本幼稚園協会編輯の児童教育

東京女子高等師範學校長 吉岡鄉甫
附屬幼稚園主任 堀七藏

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ル
ヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ
關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノ
トス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五
錢ヲ獻出スヘシ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業
ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員
トナスコトアルベシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會
ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ナシ與ヘラルモノニ
請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場
合ニヨリ臨時休會スルコトナ得

第八條 本會ハ左ノ事業ナ行フ

一、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ
開催
二、難誌發行(毎月一回)

- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
事件
- 一、保母就職及招聘ニ關スル仲介
件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 第十條 會長 一名 會務ヲ總理ス
幹事 若干名 會長ヲ補佐シ會務ヲ掌
評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長
ノ諮詢ニ應ズ
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ月期
シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ
又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員三分ノ二
以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコ
トヲ得ズ



第十二卷 第九號 幼兒の教育

—(次)目—

口 繪 遊 戲 講 習 會

保育の業 豊田 芙雄子 二

私の視察したる米國の幼稚園教育 堀 藏 一〇

幼稚園問題に關するデュキー氏の意見(一) 大塚 喜一 譯 一七

幼兒の秋の衛生 岡田道一 五

とんぼの話 哲化生 三〇

童話の口演 長尾 豊 一四

林間保育隨想 狩野壽平 三

セルリの栽培(六) 大岩金哭 三

幼稚園の遊戲 高橋キヨウ 三

九月十月に於ける觀察 東京女子高等師範學校 六

附 屬 幼 稚 園

岡野 榮。丹羽禮介先生共著

家學

秀有國學之集
其之
描摹方

菊彩作定送
判色畫價料
洋畫二金
綴三千圓廿
五十二有十七
百二有十七
貢葉餘錢錢

寫生、略畫々
レヨン畫、水
彩畫、圖案等
學校美術教
育の大展覽

唯單に寫生のみを圖畫教育の目標視するのは大なる錯誤です。更に觀察力、考観力、鑑賞力、着想の妙、色調の美、表現の技法、應用の力、之等を啓發培養してこそ其本來の目的を達すると共に他面又圖畫科が他學科とよく關聯して直觀教授や實物教授の能力を發揮し得る譯です。本畫集は之等の目的に於て小學校の各學年の各學科修習、國語、國史、理科、地理等の國定教科書の綜てに取材し、クレオング、着色圖案畫、毛筆ペンの略畫の三種に依つて描く所無慮千數百、而して卷頭數十頁に亘りその描方と各科に對する應用の方法を述べてありますから本書が圖畫科教典全集としての全能は勿論小學校各學年の全科に亘り實物教材として其應用は實に自由自在です。初等教育家及び一般家庭の御心備御推薦を乞ふ。

東京美術學校教授會員

著共助郎三田岡
介禮羽丹

新學校圖畫描き方基本集

送定菊判全一冊洋絵
送定菊判金三冊洋絵
送定菊判金一冊洋絵
單に描かれるかを兒童に見得せしめるに努めに簡題
一本の色線より順序を経て畫に實成する迄即ち素描
と色彩の過程を切つて學ぶ事である
てありますので學校教育家並に家庭の必備を乞ふ
勿本書は其應用の範圍頗る廣汎にて圖畫教育は
其省略の意を有するが故に筆紙、装帧、染物等充
全で菊判三冊洋絵
全で菊判三冊洋絵
全で菊判三冊洋絵
略に實示する寫眞等と用意周密と略畫の比較をしてあ
り、指揮切の三様の比較を極めます。教育質

奈良女子高等師範
學校敎諭兼訓導
横井 菜一著

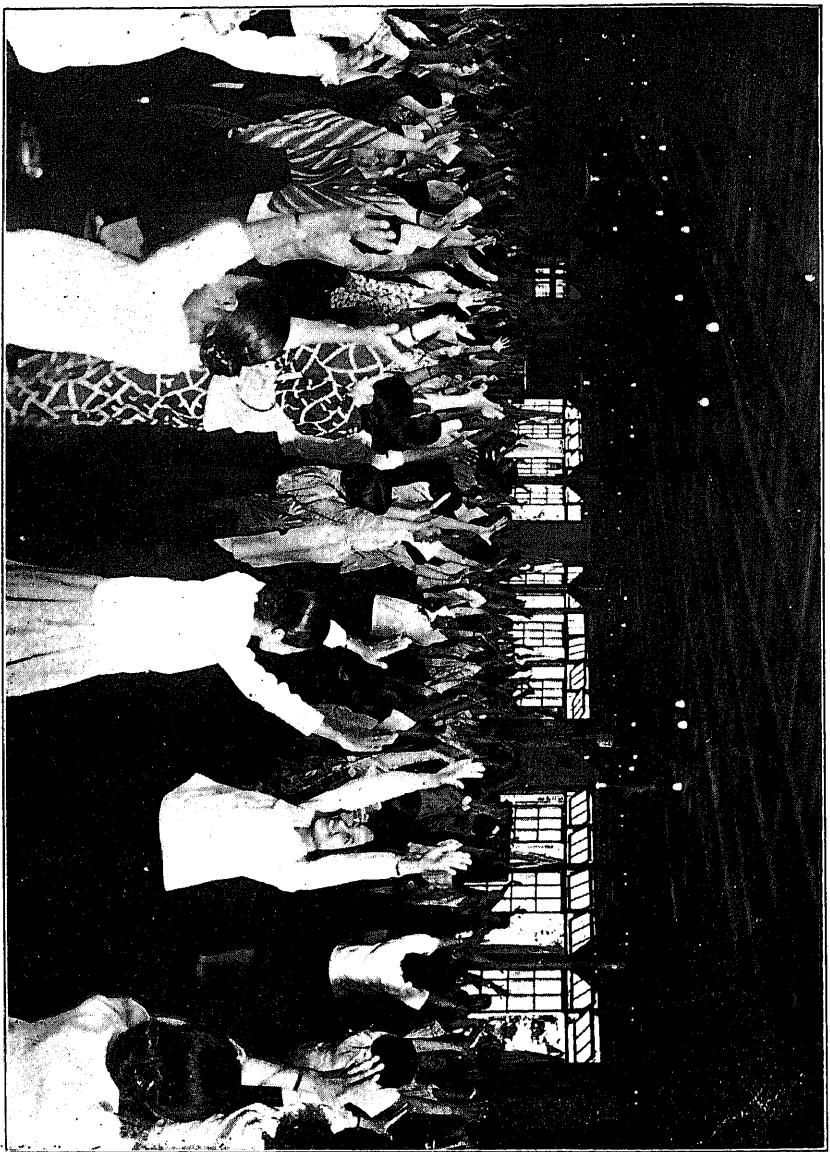
新刊 中學習

手工學習指導

菊定價一箱八十八錢入料

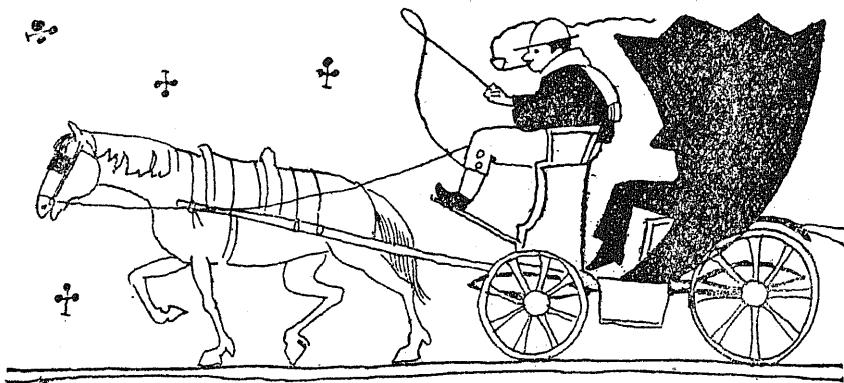
詰込主義に依る機械的、他律的模倣製作の規範から脱して、自律的に自己發見の技巧に依り藝術的、科學的製作を爲さしむるを得。

遊 戲 講 習 會 (春 よ 來 わ)



遊 戲 講 習 會 (私の人形)





號九第 幼兒の教育 卷九十二第

昭和四年九月

、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて產れたもので有ります。

保育の葉（承前）

豊田美雄子述

開誘の方法

多くの幼兒は元氣よく集りたるを中心の廊或は適當の場所に一列せしめ保母之を能く管し、若し悪戯或は他に對して意地悪しき行爲などからしめ、注意警頓せしめて遊戯室に誘ひて各々席につき奏樂一聲と共に本日の禮をのべ續きて保母再び奏樂、これらに和し唱歌を一同に歌はしむ（歌ひ方は組を分ちて謳ふもよけれどもこは現在の都合を以て處置するを良しとす。）これ等は二十分間を適當とする。唱歌をはるや奏樂に歩を合せて一列或は二列を爲して保母或は助手之を先導して各開誘室に入る。

此れより此の時間は簡単なる修身の談話又は博物の標本を示して簡易なる部分を説き聞かせ或は各種の圖畫を示し之に話を加へ、極めて解し易く面白く話し兒心に倦怠を來さざる様注意すべし。而して長さも三十分、短きは二十にて可なり。保母は速に整頓し一同を廊に導き禮をなして各自隨意に放課し程なく十一時鐘と共に以前の如く整列させ保母先導して各室に入る。各々禮を畢りて第一號より第六號中の一種を與ふる（小兒の中最も確實なる者を指名して此の恩物配布を爲さしめ、時としては小兒を賞譽す

るためこれを爲さしむ）保姆幼兒に向ひ、今や余が爲せし如くなすべしとて豫め伏せ置きたる函に左手をかけ押さへ右手を以て蓋を引あけ一、二、三、の號令と共に函を揚げ蓋をば函中に納め机案の棚或は机上の妨げなき所に置かしめ先づ形體の問答を爲し徐に順序追ひて模造物體を作りその回答を試み成たけ小兒の考案をひかしめ中に就き稍確實なる答を爲したるを探り斯くして十分乃至十五分間は保姆の與ふる規則により、此の外に十五分間は小兒隨意に種々模造體を作らしめ其の興に任せ時を測りてすばやく函中に取納めしめ豫て自然に物の整頓を導きて遊戲室に至り遊戲をなす。又遊戲に換るに簡単なる體操を以てするもよし。然れども奏樂之に伴ふを以て最良とす。保姆は時を見計ひ使用等の猶豫を興へ助手は此の間を以て午餐の用意を整ひ置くべし。其遊戲とする所の例をいはゞ

家鳩　民草　水魚　猫鼠　盲ひ　環木　蝶々　此門　兄弟姉妹　風車
とす。其他にもなほあるべし。保姆は種々新案を以て遊戲に充つる歌詞所作をも工夫し、古きに換へしむる意匠あるべし。

體操として充つるものは

多く幼兒等ともぐに手を取りて大なる環を造らしめ保姆も共に其環中に入りて

- 第一 體の屈伸を爲す、一、二、三、四、五、六、七、八、畢り。
- 第二 右の足を前へ出さしめ其まゝ體を屈伸す、號令第一の如し。

第三 左足を以て右足と等しく爲す。

第三の所作畢りて後其まゝ遊戯に換へ一人の兒を環の真中に直立せしめ、幼兒の中に誰なりとも兒童の指先を向け指さしむ。其指されし兒、直に應じて環中に在る兒の側らに來り一禮す。互に禮して居所を交換せしむ。斯くする事三四人計りにして進行或は他の遊戯に轉ずるもよし。然れ共茲にいへる遊戯の如きは三四年位の所作に適當とす。

五年六年の組の如きは大抵所作ある遊戯を爲し、其活潑と規律とを以て幼兒の心性を爽快ならしむ。此の時間三十分を要す。又時としては十五分乃至二十分間を課して後ち、自由の遊戯を暫時爲さしむるもよろし。いづれにても、兒童の遊戯に娯むや否やの模様を見計らふ事緊要なりとす。

午餐の時に食堂の設けあらば幼兒をこれに導き、若し設けあらざれば開誘に誘ひて喫食せしむるもよし。此際は成るだけ規律を整頓して自ら家庭にある時と同様に長者に先き立つ時の禮に倣ふべし。午餐終りたる時も隣席の兒へ一禮して立たしむるを可とす。食後の整理も成るだけ自身にこれを辨じさすべし、而して午後始業の報までは隨意に遊ばしめ此時に於て遊戯具の要あるなり。保姆の喫飯は交代して辨じ始終監督を怠ることなけれ。子供の本性は却つて隨意の時に現はるゝなれば忽かせになすべからず。

午後の鐘鳴るや初めの如く各室に誘ひ此度は板並べ、石盤畫、箸、環並べ等を教へて想像模形の畫を

作らしむるを良とす。これも亦二三十分時間にて畢る。十分斗休憩の時を與へ次の報を待ちて前の如く集り、此度は紙片或は紙糸及び麥藁其他各種の物品を配當して種々の模擬體を作らしめ、かねて指先きの運動を自在ならしめ、且自ら工夫して品物を製するは誠に幼兒の心に愉快を與ふるなり。斯の如くして最終の鐘報あるや初めの如く廊下に導き今日の樂しみを謝して互に本日の別を告くるなり。保姆百事注意して幼兒は惡戯惡癖ある時はよく之を訓誡し、又庭園に散步の時衣服手足の泥土等に穢れたるを見出しなば夫々注意し、洗ひ、又は乾かし、又各自家に歸りし時は父母長者への挨拶は如何と向ひ且教へ示すこと等親切丁寧を旨とすべし。

呼鳴此間保姆の注意豈夫れ僅々にして止まん哉、實に猥篤周到ならざれば一日の錯雜を整頓する事難し。斯く説き來り、終りに臨みて又一言の注意を要すべき事あり。他にあらず、これより保姆は明日の製作に供すべき物品類の準備用意是也。且つ木片の遺失ありや否やを取調べ、すべて、明日の事を充たし、而して後園を去る。

次に保姆の心得べき事どもを二十五條に分ちて示さん。

- (1) 小兒は其年齢と發育とによりて開誘すべし。苟も成人と見誤ること勿れ。
- (2) 小兒を導くに必これを急にするを要する勿れ。開誘の仕業は皆遊戯と心得たらんには大なる誤ちなかるべし。

(3) 室の内外を問はず禮を施すべき場合には能く注意して禮を爲さしむべし（例へば園長或は他人と雖も其敬禮すべき場合等）

(4) 遊戯の際器物等を破損するは小兒の常情なれども物品に因りて事に害あるものは子供の業なりとして放擲せず、よく〳〵將來を懲戒すべし。其まゝ此れを打捨て置く時は却て傲慢の心を増さしめ將來に有害となり而して尙小兒自身に製作する事能はざるものは猥りに破損すべからざる旨を諭すべし。其被すべきは小兒に勵したるものにて、人にも事物にも迷惑ならざるもの限りと知るべし。

(5) 庭園に散歩する時花卉を折り、草木の芽を摘み取るは小兒の好む所なれども猥りに之をなさば美しき花を見る事を得ざるのみならず、鳥これに囀り、蝶これに舞ふ所を失ひ、好ましき果實も亦結びがたき事を諭すべし。

(6) 小兒は玩具を破壊し、珍らしき草木を見ては枝を折り、花を摘むの特性を有するは則ち身心智能の發育するに隨ひ、かゝる活動をなすに至るものなれば、あながちに抑制すべき事ならねど能く戒むべし、そは唯、事に害なきものを被すにあるのみ。又出て土穿ち、石を積み、物體に擬する事を頗る好む所なれば有害にあらざる限りは打まかせ爲すがまゝになし置くを良しとす。身體の健康に大によろし。

(7) 幼兒我意を言ふ時は餘り烈しからず堅固に弱みなく溫和に諭すべし。

(8) 保母はなるたけ兒童に適當する言語を以て説話するは最も良き事なれども、世に所謂片言をば言ひ語るべからず。常通簡易に正しくいふべし。

(9) 唱歌は成るたけ歌詞の解し易く、抑揚簡易なるを歌はしむべし。大人の面白く歌ふとも、兒童は大人の如くならざれば拍子は四ツ拍子にて曲節の活潑なるものを擇ぶべし。

(10) 保母誘導の際規則時間中は兒童の隨意を許すべからず、若し屢々これを許す時は傲慢放從の性を増さしむ。

(11) 恩物を與へて始終物品の整頓を爲すの良風を習はしむべし。

(12) 會話は専ら簡単にして家庭のあり事、幼稚園往復通行途上耳自に觸れし事等をすべし（假令ば保母の問をなす場合、汝等は今朝幼稚園に到らんとする時何か珍らしき物をみとめざりしや。小兒あり。保母、さればその見たりし物に就て譚を語りさかすべし、云々。或は汝が家には犬を飼養し置くや又猫或は馬を飼ひあくや。小兒答、何れもなし。保母、されば汝は他の家にて飼馬を見しならん。其馬の形體は二つ耳と蠶其他何より形づくれるや、知れる所を答ふべし。小兒答、知らずと。然れば誰か知る者あらん、其人は手をあぐべし等の如し。此の種の會話は詳に兒童の思想をひき起すもの故、なるだけ多く爲すべし。

(13) 修身及び博物の話は最も簡易にして理解し易き譬諭等を以て良心を養成すべし。

(14) 物に害あり人に妨げある悪き事は如何に瑣細の事なりとも許す可からず、保母の權を以て能く制すべし。

(15) 児童若し虚言を言ひたるより相當なる處分を要せんとする時は其重きは保育室に放ちやり、或は群兒と等しく恩物を與へず室の一隅に獨立せしむる等是也。

保母は慈愛懇篤の精神を以ても偏愛等の念ある可からず。

保母は氣長く溫和なるべし。

児童に粗暴なる言語あらしむべからず。

児童に粗暴なる言語あらしむべからず。

児童朋友の交際には豫て友愛の情を以てなすべきを知らしむべし。

小虫小馬及小き植物なりとも殘酷なる取扱を爲すべからざる事を知らしむべし。

児童は決して大人長者の言に背く可からざる事を知らしむべし。

正直溫和純白は幼稚の徳なり、保母は毎々紳に記し置くべし。

保母は殊に細目に注意すべし。

諺に曰、今日の小兒は明日の大人なり。又曰、小兒は大人の師なり。

因に曰、或幼稚園にて嘗て閉園の際児童歡喜して雁行を爲して歸り去らんとする時、一児童戯れ去

る、或兒は謹慎に去る、保姆之を目送するに當り餘りに戯れて行くあり、保姆之を誠む。兒童曰く、吾は全く甲兒の所爲に倣ふなりと。保姆曰、然らば汝甲兒の品行に習ふとせば吾汝のために教る事を要せず如何となれば吾は日々汝等を教へ導くがため、斯く、汝等と共に歡喜し共に樂しむに非ずや。然るに彼の惡しき兒童の行爲を學ぶをなすは、吾は、汝に教るとも益なしと。訓誡するに、兒童は誠に愧ぢたる面をなして去りたり。其夕、婢に導かれ保姆の許に來り謝して吾後來斯の如き所爲をば決して爲すまじ。宜しく許さるべき旨を述べたり。因て保姆も亦大に悟る所の一端となりたりといふ。これ所謂小兒は大人の師なりといふも空言にあらざるべし。

私の観察したる米國の幼稚園教育

堀 藏 七

一

私の観察行脚も終末に近づき米國の中部の大都市シカゴを引上げて西海岸カリフォルニヤに來ましたのが三月十二日であります。カリフォルニヤはロスアンゼルスからサンディイゴ、それからサンフランシスコその向岸のオーニクラントバークレイと參觀したが幼稚園は比較的に少いのであります。

ロスアンゼルスには我が日本人が多く、その二世たる日本人は米國の國籍を有するものでありますから米國の教育を受けるのは勿論であります。エプロンとバンツとの合併したエプロバンツをはいた子供達が日本人の多い町到る所に遊んでゐるのを見受けます。米國人として眞に教育を受け、米國民として將來發展せねばならぬのでありますが、家庭に於ては日本の生活、外に出ると米國の生活、汝等の代りにユーラ、私共の代りにミーらを使ふ二重國語二重生活をするのでありますから、従つて午前は米國の學校に通ひ、午後は日本語學校の教育を受けねばならぬといふ二重負擔、それも日本語學校では困るとか何とか、米國官憲の壓迫を受け、米國人の排斥を忍んでの生活でありますから誠に氣の毒なものであります。

ます、元來米國人といつても凡て世界の食餘しもの、ならずものが集つて來て發展したものであります。米國本來の人間はアメリカン・インディアン位なものであります。そこは優先權で、早く移民した西班牙人でも伊太利人でも大威張、後から引越した日本人は常に下風に立たねばならぬ順序、どんな優秀な頭腦を持つてゐても、立派な成績でも、血は水よりも濃く、白人は白人でなくば晝も夜もあけぬといつた風があるらしいのであります。しかし後から引越して先に出ることは中々六ヶしいのは世の道理、氣永に勉強するならば實際の勢力は大和民族の手中に落ちて來るのであります。サア現狀を見てはたゞらぬといふはまた道理。第二世を如何に教育するかと在外同胞は頭を脳して居られます。私は是等の日本入學校を參觀して考へたこともありますが茲には省略いたしませう。只在外同胞の教育問題は大に研究すべきものであるといふことを月並に諸者の注意をひくに止めます。

二

ロスアンゼルスの郊外、しかし今は大ロスアンゼルスの港となつてゐるサンビードロ、こゝには日本人の漁業民が集つて立派な一町をこしらへてゐます。家が立派だといふのではなく、町が立派だといふのでもない、相當な漁業民が集つて一部落をなしてゐます。老若男女併せて三千人。こゝの一米國小學校には白人が只の一人、他は悉く日本人の子供が就學してゐる所があります。この學校から十町も離れた所にある米國の一公立小學校はメキシコ人やイタリィ人の子供が多いのであるが、サンビードロの漁村

にあるロスアンゼルスの某公立小學校は凡て日本人の所謂第二世であります。幸に知人ソ氏夫人が案内で、いろいろと參觀して感心したことが幾つもあります。その一はこの學校の校長並に職員が日本人の子供の教育に大變に熱心なことであります。アメリカでは教師は一年毎に年期を勤める位で、教師が職業的になつてゐます。それが永年この學校に奉職して他の學校に轉任することを好まぬといふ位に、日本人の教育に熱心であります。それはイタリイ人の子供やメキシコ人の子供を教へるよりも、また支那人の子供を教へるよりも遙に日本人の子供の方が教育して進歩するからであります。また父兄たる日本人が教師を尊重するからでもあらませうが、しかしこれ位日本人の子供を教育するに熱心なるは我が同胞の爲、吾等も感謝せねばならぬと思はれます。人の子を教育する天職に甘ずる態度はこのロスアンゼルスの公立小學校の態度を見て模範となすべきものだと思つたのであります。第二に感心したことはその校舎のサッパリした點であります。二三十階、少くとも五六階以上の重苦しい壓迫を感じるアメリカの學校建築と全然風變な平屋建の校舎。それが木造で所謂バラック。それで吾等には所謂文化住宅とも見える輕快な建築であります。一年の雨量僅に三百耗か、多くて五百耗、わが東京の雨量の五分の二から三分の一位しかない南加の天地、天使の稱あるロスアンゼルスのことであるから、この輕快な木造校舎が實にふさはしい感がいたしました。殊に今まで重苦しい武装したやうな、マツチ箱を無暗に多く積重ねた重箱式の建築を見て來た吾等の目にはとてもお話にならぬ位、心地のよい校舎であります。

茲に幼稚園の園舎の略圖を表してお目にかけませう。我國では眞似が出來ないかも知れないが、誠に面白い設計であります。この圖は參觀したときあまり面白くと思つたのでわざと畫用紙を貰つて略圖し

たものであります。大きさは五

間に七間位もありますか、それと

も六間に八間位あるかも知れませ

ん。純粹な日本建築であります

から、柱が現はれてゐないが爲に

室の間口も奥行も目測いたし兼ね

たのであります。小學校の方から

廊下傳に來ると、とつつきが遊戲

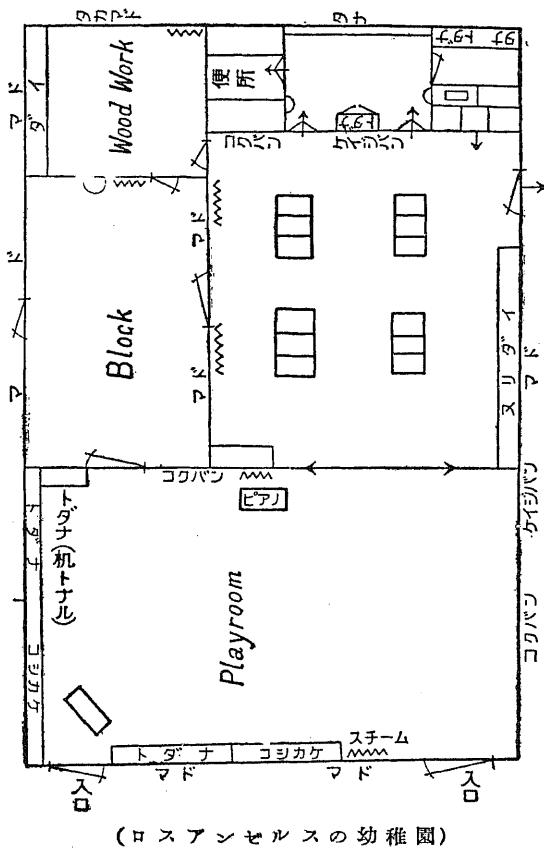
室であり、保育室であります。

間に六間位もありませう。入口の

右壁が黒板となり掲示板となり、

左壁が窓になつてスチーブがあり腰掛となる戸棚があります。そして今一つの入口のドアがあります。

このドアの前に机がありますが常に出入せぬから差支がなじめのと見えます。そして引續いた壁が窓に



(ロスアンセルスの幼稚園)

なり、腰掛と戸棚とがあります。この室の突當の壁は面白く兩端一間位は壁であり、眞中の所が黒板となりスチーヴがあつてその前にピアノを置いてあります。左のドアを入れると積木の室になり右のドアは日本式の兩方への引戸で隣の保育室と界してゐます。必要に應じて兩方に開けば二室つどきの大廣間となるといつたものであります。こゝの構造がどうも設計者が日本建築の考を十分とり入れたものに相違ないやうに思はれます。必要應じにては一室となり一室となる工夫はまことに面白いと思はれます。

我が國で小さな幼稚園なども狭い保育室一つ、別に遊戯室などと無理な注文をせず、遊戯室を必要に應じて二保育室となし、保育室を遊戯室にすることが出来る。工夫をすることが必要である外國の幼稚園を見て今更ながら考へるのは實に馬鹿々々しい話であります。六疊間と八疊間。襖で間仕切したり、板戸で區切ることは昔からの便法、幼稚園でもそんなことは必要に迫られて昔からやつてゐるといふことであればアメリカに來てそんなことに感心してゐる私が阿房な話であります。尤も世の中にはこれに似たことが大變に多く、所謂逆輸入といふものであります。室内からすぐに庭の芝生に這出ることの出来るやうにした英國の保育學校の建築を勿體振つて感心すれば、何のことはない我が國には二千年來あつたもの。雨水が入り温氣が多く、風雨が吹込むからいろ／＼工夫し模倣して腰掛も高くするといふ今日。また人真似すればこれも逆輸入であります。兎に角幼稚園の建築も氣候を考へ費用を見積つて成るべく必要を満足せねばならぬのでありますから、私はこのロサンゼルスの一幼稚園か多少詳しく述べ

説明したとて、それが模範であらうといふ意味では勿論ありません。遊戯室から入つたのが保育室、右側に窓があり運動場に出るドアがあり、窓の下は臺になつてゐます。こゝでベンキなどを塗る作業をするやうになつてゐます。左側は隣室との間仕切で中央にドアがありますが、この間仕切は壁ではなく窓のあるところが面白い點^アあります。そして突當りには黒板があり掲示板があり、二個の出入口がありますが、便所とは入つて見ぬと分らない工夫が面白いのであります。この保育室は四間平方位で、二個のストレーブがあるだけ。暖いロゴアンゼルスでは澤山と見えます。そして三脚宛組合せた机が四ヶ所あります。幼兒の作業臺となるのであります。その左隣の室が三所に出入口を持つてゐる積木の室で、大小の積木が澤山あります。そして窓が二方にありますから十分に明く、汚れた手を洗ふ水洗もあります。こゝから次の室に入るとこゝは木工の室、廣くはないが五六人の幼兒が木工をやるに都合よく出来てゐます。積木の室を通らすとも保育室から入ることが出来ます。臺がありその下に材料を置く所があります一方は高窓になつてスチーブが一個取付けてあります。保育室突當りのドアを排して入ると左右が便所となつてゐます。手洗もあれば戸棚もあれば一切の用を便するやうに出来てゐます。それで携帯品置場や昇降口といったものゝないのが不思議ですが、これは不必要だからであります。雨も殆ど降らず砂濱であり靴ばきの子供。それにすぐ出たところが日本人の漁村まさか幼兒が裸足で来るわけでもなく、泥足で上がつて床板がよごれてゐるといふのもありません。こゝらが土地によつていろ／＼設

計も異なるべきところでありませう。兎に角この幼稚園では幼兒の時代から節約利用の精神を涵養しよき習慣となすが爲めブリキの空罐、附近に鑑詰會社が十以上もありますが、その罐ではなく果物や野菜の罐詰を次第に多く使用する近代の文明生活には空罐がどこでも多くなるものであります。それをその儘すべてないで、底に三か四つの小孔を穿ち、これにエナメルをぬるとよい植物鉢が出来るところが幼兒のペインティングの材料となし園藝趣味の養成をなしてゐる所以あります。ブリキ罐の利用でありますからいろいろ面白いものになります。植木鉢では吊して置くに便利で落しても破損せず、水を入れると水槽となり動物を飼育するに都合がよい。只鏽ないやうにエナメルを塗ればペインティングの練習となり雅趣のあるものとなるので幼兒には至極よい作業であると園長は説明して居りました。成程面白い材料、貧弱な我國で空罐利用もよし、マツチ箱の利用もよいのであります。子供のときから節約利用の習慣を養成することは甚だ肝要であると思はれます。節約利用は口先の説法では何にもなりません。幼兒より習慣づけるにまさる方法はありません。それには我が國幼稚園でもつとこの方面に考量を要すると思はれます。對岸の米國を手本となすとき單に浮華輕跳な點のみを學ぶ必要は毛頭ありません。

幼稚園問題に關するデユ井一氏の意見 (二)

大塚 喜一 譯

三、想像と遊戯

象徴主義の過重視は想像の取扱に影響を及す事は明らかである。幼兒が想像の世界に住むといふ事は勿論真である。或意味にては幼兒は只(想像によつて)「眞似事を」なし得るのみである。彼の活動は、彼が其周圍に起りつゝあるのを見てゐる所の生活を表現し又は意味する。是等の活動が斯の如く表現的であるが故に象徴的と稱してもよいが、しかし茲に注意を要するは、此眞似事又は象徴主義は暗示せられたる活動に關係がある事である。是等の活動が子供にとりて、大人の活動の如くに實際的に且決定的のものでないならば、其避くべからざる結果として作爲的となり、神經の緊張、身體的及情緒的興奮等を來すか、或は又力を枯死せしむるに至るであらう。

然るに從來奇妙なる殆ど合點のゆかぬ傾向が幼稚園に存してゐて、子供の活動の價値は其代表する事物の中に在るが故に使用さるべき材料は出来るだけ作爲的なものでなければならぬ、又子供の方の眞の事物や眞の行爲から大人は注意して離れてゐなければならぬと假定されてゐた。斯くして此頃の人々は

園藝活動とは種子の代りに砂を蒔く事によつて行はるゝものであり、子供は假想の室を假想の幕や布で掃いたり拭たりした。彼は食卓を設くるに平たく切つた紙ばかりを用ひ（其切紙も實際の皿よりも幾何學的圓形に據つてゐて）子供が幼稚園以外で遊ぶ飯事道具を用ひなかつた。人形や汽車や電車の玩具等もすべて餘りに粗大に實際的であるから幼兒の想像を開拓せぬとして使用を禁せられてゐた。

是等は皆確に單なる誤信である。幼兒の心の想像的遊戲は彼が用ふる事物に關連して群り起れる暗示回想・豫期の集積を通じて來るものである。是等の事物が自然で直截的なから様のものであればある程彼の想像遊びを眞に表現的ならしめる所のあらゆる聯合せる諸暗示を喚起して相互に維持せしむべき基礎が益々確實となるのである。子供が爲す簡単なる料理・皿洗・掃除等も例へば五人の騎士の遊戲に比ぶるも無味乾燥で實利的であるといふ事はない。子供達にとりては是等の作業は彼等より年長の者の從事する如何なる事物にも附隨せる一種深奥の價値感を充溢せるものである。材料はそれ故に機會の許す限り「實際的」で直接でありのまゝのものであらねばならぬ。

しかし原理は是のみにては止らない——象徴さるべき本の材料、即ち實在は又子供自身の感賞（又は評價）の能力以内に存せねばならぬ。想像の用は遙に隔つた形而上學的神靈的なものを代表する程有益なものであると思はれてゐる事である。しかし斯の如きは多くの場合、大人は自らを欺く者であると云ひ得るであらう。大人は本物（實在）と象徴との兩者を意識し從て其間の關係を知つてゐる。然るに其本

物即實在は子供の到達し得ざる遙か彼方に在るから、大人が其象徴と見做す所の物も子供にとりては全然象徴とはなつてゐない。それは子供の考からば單なる一物である。實際子供は此物から其身體的感覺的意味を得る以上に、教師が豫期する如き只の言語態度上の流麗を何等精神上に相應するもの無くして得る事が極めて屢々である（がこは憂ふべき傾向である。）かくては吾人は象徴に依て靈的眞理を教へて居ると思ふてゐる時に、實は屢々不誠實を教へ感傷主義を注入し感覺論を獎勵する事となる。それ故に子供の表現の材料となる本物は出来るだけ子供の親熟した直接的な實際的な性質のものであらねばならぬ。吾人の學派の幼稚園に於ては子供の仕事は家庭及近隣の生活の表現といふ事を中心とするのは主に斯かる理由に依るのである。斯くして吾人は次の「題材」の論題に移らう。

四、題 材

家屋・家具・什器等及家庭内の仕事等に關した家庭生活が子供に良題材を提供する、それが子供に直接の眞實な關係があるから自然に想像の形に於て表現せんとする。それが又倫理的關係を充分に有し又道德上の義務を暗示して子供に對して彼の道徳的方面に多くの材料を供給する。此細目は多くの幼稚園のそれに比して野心に乏しいやうだが、しかし題材の此限定には何か積極的な利益があるではないかと問ふて見るがよからう。更に範圍を擴げて、例へば産業社會・軍人・教會・國家・等の仕事に迄及ぶならば、

其仕事は過象徴となる傾向を生ずる。是等の材料の多くは四五歳の幼兒の經驗や能力を超えてゐるから、幼兒は是等に對して只身體的情緒的な反應をなすのみで、材料それ自身に眞に透徹する事が出來ない。尙斯かる野心多き細目に於ては、子供自身の智的態度の上に憂ふべき反應を起す危險がある。單に擬したる眞似事を以て全宇宙を經驗し盡さしめたとせんか、子供は遊びに飽き果てて、直接經驗の單純なる事物に對して自然に有してゐる喝仰の念を失ひ、小學初年級の教材に對して最早何物をも學びたりとの感を以て向はしむる事になるであらう。兒童生活の後年の時期は夫々獨特の使命と權利とがある。皮想的な情緒的な豫見的仕事は子供に甚しき害をなすものである。

尙此上に、一題目から次の題目に忽ちにして飛び移る精神的習慣を導入する危険がある。子供は子供らしき型の忍耐と持續とを可成り有するものである。成程子供は新奇と多様とを好み、新世界に導き又は探究の新道を開拓する等の事無き活動にはすぐに疲勞するものである。余の辯解はもとより單調の爲ではない、子供が成育して來た家庭に於ける諸種の活動・家具・器具等は充分の變化があつて續いて多種多様になり得るものである。此變化は文明的及產業的生活に此處彼處にて觸れ、此關係は適宜に是等の事物を主題の統一を越ゆる事無くして其中に導入する。斯くして注意と總ての智的發達との基礎となる感じ即連續の感を養ふの機會が茲に存する。

この連續は之を目標とする方法其自身によつて往々妨害せられる事がある。子供の立場から云へば統

一(連續の意?)は題材の中に存する。即ち此場合には彼が常に家庭生活といふ一者を取扱ふてゐる事に存する。注意せらるゝ要點は或生活の一つの相から他の相へ一職業から他の職業へ、家具の一部分から他の部分へ、一の親族關係から他のそれへと連續的に移り變るが、しかし是等は何れも同一の生活様式(即家庭生活)を組立つる事に統合せらるゝので、只其時々により此處彼處の姿が顯著となるのみである。子供はいつも統一の中に働いてゐる。其明らかさと限定期度とは種々相あるべきもそれ等は相互に脈絡ある結合に持來される。もし題材が過度に多様となる時は、連續は單に形式的方面に求めらるる傾向がある、それが即ち題材を發達順序に列べた所謂要目となるのである。規則としては此の順序は純粹に智的であつて從て教師によつてのみ把捉せられて、子供の頭上を空過したものである。故に、年、期、月、週等の細目は、或期間に如何程の共通題材が充當し得らるゝかを測定した基礎の上に造らるべきもので、智的道徳的基礎に據るべきではない。こゝに確實性と可變性との兩者が得らるゝであらう。

五、方 法

幼兒期の特別の課題は勿論子供の自然の衝動や本能を確保し且之を利用して智覺や判断の更に高等な段階に進ましめ又一層能率高さ習慣を其身に備へしむる様にし、斯くして子供は廣げられ深められた意識と行爲の力の一層進んだ統制とを有する事に存する。此結果に到達し得ざる時は、遊戯は只の娛樂と

なるの外なく教育的に成長した事にはならない。

概して云へば、構成的即ち「造り上げる」仕事は（勿論談話や歌や遊戯を適當に交代せしめつゝ、構成の中に含まれてゐる考に必要に應じて結び付けてゆくがよいが）次の二項を得る爲には他の何者にも優りて最も適してゐると思はれる——「子供自身の衝動より開始する事」及「更に高き段階を完了する事」

構成的仕事は子供をして多種の材料（木、錫、革、毛糸等）に接觸せしめ、又縁遠い象徴的意味しか有せぬ練習に依るにあらずして、實際的方法で是等の材料を用ふる動機を供給する。且遊戯の中に感覺の銳敏と觀察の正確とを持來し、遂行さるべき目的の明瞭なる想像を要求し、計畫に於ける工夫と發見とを要求し、又必要なる注意の集中及實行に於ける人格的責任感を育成する。其結果は明かに觸知し得らるゝ形のものであるから、子供は自らの仕事を判斷し且自己の標準を改良する様に導かるゝであらう。

尙幼稚園の仕事と關連して模倣と暗示との心理に就て一言するの要がある。幼兒は模倣性に富み又暗示に對して公開的である。彼の粗雑な力や未熟な意識は是等の道（導體）を通じて絶えず豊富にされ又指導されねばならぬ。しかしこゝに注意をす要るは、模倣と暗示との使用には全然非心理的である程に外面的なるものと、子供自身の活動に對する有機的關係に依て正當なる事を證明されたるものとを判別する事である。一般原理としては、模倣に依ては如何なる活動も創造せられぬ。出發點は子供から來らねばならぬ模範や寫しは子供を助けて彼が眞に欲する物が何であるかもつとはつきりと想像せしむる爲

に——即彼を意識的ならしむる爲に提供せらるゝものである。其價値は行爲に寫し出す爲の手本としてではなく、思想を明瞭且正當に導く所に存する。子供が實行する時となれば手本から離れて彼自身の想像に依るのでなければ、彼は奴隸となる從屬せる者で發達せしめられてはゐない。模倣は加勢や助力の爲のものであつて、獨創の爲のものではない。

子供が意識的に或方向に要求を發表する迄は教師は其方に何も暗示してはならぬといふは根據なき主張である。同情心深い教師は子供自身よりも明に、子供の本能の何たるか何を意味するかを知つてゐる様である。しかし暗示は子供の成長度の代表的姿態に適中せねばならぬ。それは子供が既に暗々裡に爲さんと勉めてゐる所のものを適當に持來る爲に刺戟として役立たねばならぬ。子供を省察して彼が暗示を受入する態度を見る事に依てのみ、我々は其暗示が子供の成長を進める要素として作用してゐるか又は外的なでたらめ課題で正常な發達の邪魔をするものであるかを告げる事が出来る。

同様の原理は所謂規定作業に一層確實に適用し得られる。一體子供は其勝手な無指導の空想に放任すべきか、又は方向を指定した形式的順序に依て其活動を制駁すべきかの二つの方法の外に中間の途はないかの様に考へられてゐるが、是程不合理な事はない。上に述べたる如く、教師の任務は、子供の發達上問題の時期に於て如何なる力が發現せんと勉めつゝあるか、又如何なる種類の活動が此力の發表を助くるかを知り、之に必要な刺戟や材料を供給する事である。例へば、芝居小屋の暗示即ち之を備へ附

けるべく既に造られてあつた物を見又他児の働くを見る事から来る暗示は五歳の正常児の活動を指導するに確に充分である。模倣と暗示とは自然に必ず來るものであるが、只幼児自身の希望と思想とを實現する事を助ける道具とならねばならぬ。即ち模倣と暗示とは既に幼児が漠然と混雜した從て有效な方法で求めてゐたものを實現し意識に持來するの用を爲すのである。心理學的立場から云へば、教師が指定を與へねばならぬ場合とは子供が自ら何を爲すべきか何故になすべきかの觀念を有せざるが故に起る。しかし指定に従ふ事に依て子供は統制の力を得るのではなく實は却て之を失ひ、外的原因に依存せしめられる。

結論として、題材及方法の兩者は共に次に論ずる六歳幼児の仕事と連絡する事を指摘しておくる。家庭生活の遊戯的表現は家庭が従屬せるより大なる社會的職業の更に擴張せる且重要な研究へと自然に導くものである。一方子供自身の能力には計畫し、實行せんとする要求が續いて増し、一層分明に智的な問題に對する注意の更に統制ある使用へと子供を導く、「幼稚園」と「六歳時期」との連絡を保つに必要な調節生活は後者の側から總てが持來さるものでない事を忘れてはならぬ。學校の變化は子供の成長に於けるが如く同様に徐々に且感知せられない様にせねばならぬ。幼稚園の仕事がそれを孤立せしむるあらゆる事情を克服して、幼児の力を充實せる發達と歩調を合せる如何なる材料も出所に拘らず愛想よく歓迎し、斯くして來るべき次期の仕事に對して幼児を用意せしめる様にしなければ此事は不可能となる。

幼兒の秋の衛生

醫學博士 岡 田 道 一

今年も暑いと云ふ日がかなり續きましたが、いつしか夏も去つて涼風の立つ秋となりました。一般に秋と云ふ聲を聞くと、幼兒の身體もしまつて元氣づいて来るものです。然しこれは健康な幼兒に對して云ふべき言葉で、か弱いものでありますと、秋風が立ち初める頃から、夏の疲れが今になつて現はれて何んとなく瘦せて來ることがあります。以下これらを斟酌して幼兒の秋の衛生として最も大切なことをお話し致しませう。

◇今は栄養に注意するとき

幼稚園に通ふやうな時代では自分に氣に入つた食物だと隨分驚く程食べるものです。これは發育

盛の今頃さう心配することはありませんが、暴飲、暴食の習慣をつけさせぬことです。秋になりますと、真夏の胃腸の働きとは變つて、一般に其の働きがよくなつてをります。何を食べても美味を覺えるときです。夏はどうしても胃腸の働きが鈍つてゐるので、食の進まぬのが普通です。これが氣候の關係から今は食が進み勝です。これはまたことに良い現象と言はねばなりません。

さてこゝに注意すべきことは、此の秋の食の進むときを見て幼兒の健康増進を圖る考が必要なのです。これには栄養を良くする事で、栄養を良くすると申しましても、只子供の好むものばかりを

澤山に與へよと云ふのではありません。今から好き嫌ひのない様に習慣づけ、副食物にしても種々と心配して、毎日獻立を充分に變へてやらねばなりません。あまりこれは不消化など、心配して少し堅いものだと子供に與へぬ御家庭もあるが、胃腸の丈夫な御子さんでしたら、少しは與へても差支へはないのです。差支へのない所か至極結構と申したいのです。然しあ話してあきますが、ろく

＼噛ませずに殆んど鵜呑式にするのを見て兩親は平氣であるてはいけません。これは軟かい食物であつてもいけません。良習慣を養ふのも丁度今が肝腎な時代です。それが少し堅いものとしましたら、少しづゝ御口に入れて、静かに幾度も咀嚼するやうに御子さんの癖にするやうに御母様の御注意が肝腎です。此の事は幼兒教育に當る諸家からも幼兒によくお聞かせ下さる様に願ひたい。これは食事の度毎に（よくかんかんして）と繰返して

頸を振て見せるやうにすることです。これから物をよく咀嚼すると云ふよい習慣が得らるゝと同時に歯も健康となり栄養もよくなるものであります。いかに美味なものでも噛むことが不充分であります。ましては、胃に入つて消化が行届かず栄養不良になるのです。それ故幼兒には食物を與へると同時に咀嚼を十分にすることを教へこまねばなりません。

次に食物でありますが、第一に考ふべきは日本人の常食とするお米です。これは何んと云つても切りはなすことは出來ません。人間の體にはいろいろの栄養素が必要ですが、その中にヴィタミンBも極めて必要です。ところが日本人はこのヴィタミンBが缺乏してゐるのです。何故に缺乏してゐるかと云ひますのに、日本人は白米を常食としてをります。今日の純白米中にはヴィタミンBが殆んど皆無と云つてよいので、それを常食としま

すから、勢ひ大事な栄養素が缺乏する。然らばベ

イタミンBは米にはないのかと申しますと、白米にはありませんが、玄米にはあるのです、即ち玄米の胚芽がそれです。この胚芽の中には貴重なビタミンBが存在してゐるのですから、これをどうしても食べるやうに今から心懸ける必要があります。

そこで芽のある米を召上れと云ふことになります。そこで芽のある米を召上れと云ふことになるので今日販賣されてゐる胚芽米を取るのがよいことになるのです。然し又これでいけないと思つたら、白米に麥を入れて食べさす様にするのもよろしい。只純白米計りであると、幼児の栄養に缺けるところが多いからいけないと云ふのです。

それから副食物ですが、これは大して心配することはありません。好き嫌ひのないやうにさせることで、この好き嫌ひと云ふ癖のつくのが一番いけません。幼児の發育を妨げて病氣に罹り易くするものです。又好き嫌ひの多い子供程身體の弱い

ものです。

先づ秋季では食品が山をなしてゐるときで、なるべく旬のものを御膳にのぼせるのがよろしい。

旬のもの程栄養豊富なものはなりません。お魚ならかます、小鰯、生鮭、野菜ものなら唐の芋、八ツ頭、蓮根、牛蒡、蕷菁、果實なら梨、葡萄、栗など其他種々あります。これらには相當ビタミンが含まれてをりますから、食傷しないだけ適宜に攝らした方がよろしい。

これから寒い冬に入る準備として少し早いものとしても今から幼児の健康増進を圖つておかねばなりません。身體の弱い御子さんなら尙更です。これには何んと云つても栄養を旺にして運動させることです。栄養としては發育を盛にする爲に且つ抵抗力を高めておく必要上ビタミンAを含んでゐるもの牛乳、鶏卵、野菜では、ボーレン草、トマト、ニンジン、チシャ、サツマイモなど特に

十分與へた方がよいと思ひます。

◇虚弱兒に注意するのは今

虚弱兒と申しましても、種々あります。一寸見

ては何んともないやうですが、一般に元氣のないものや、お友達と一緒に遊べないやうに直に泣いたり、なか／＼云ふことをきかない子、常に皮膚殊に顔の蒼白い子で、子供らしいいたづら氣のない子、其他調べて見ましたら、まだ澤山あります。が、兎に角これらの幼兒は秋になりますと、夏までの徵が明かに現はれて多くは瘦身になつてをるもので、要するに夏までの爲に栄養が殺れてゐるのであります。そしてかういふ幼兒を調べて見ますと、腺病質とか貧血に悩んでゐるものが多く、腺病質とか貧血に悩んでゐるもののが多く、瞼を引つくりかへして見ますと、大抵蒼白くなつてゐます。これは腺病質のものに表れ、貧血になつてゐるのですから、先づ考ふべきことは體質改善で、小學校に入る以前にかういふ状態を發見す

ることの出來るのは結構なので、今から相當な手當をしてやらねばなりません。

◇貧血してゐるものには

貧血するのは種々の原因からですが、一番多いのは榮養不良、住居の不良、日光と空氣の不足、腸の寄生虫などから貧血になることが多いのです。先づこれらのうち榮養不良が最大原因ですから、これを治す目的として蛋白質を澤山含んでゐる食物を程よく與へることです。それは蛋白質の缺乏から貧血になるものと言はれてをりますからです。蛋白質をとりますのには、鶏卵、肉、魚と云ふことも大切ですが、植物性のものも加へねばなりません。それには豆類、すべての野菜も必要です。又鐵分を含むもの、即ち綠菜、殊に萐葉草小松菜、特殊栄養剤としては肝油の適量などどう／＼に適宜配分するやうにしてゆくことです。然し貧血兒と云ふものは、決して一時に良くなるも

のではありません。今頃から注意して冬に入るまでに改善の出来るものと思はねばなりません。兎に角今から注意さへすれば來たる冬までには必ず改善されて健康を恢復するものであります。又毎日温浴をとらして血液の循環を高めることと軽く新鮮な空氣中で運動することなどに注意せねばなりません。

◇今は猩紅熱の流行するとき

秋は傳染病の流行するときで、幼兒を犯す場合が頗る多いので油斷は出來ません。秋の傳染病と云ひましても種々あります。先づ有名なのはチブス、コレラ、殊に幼兒では痘瘡、赤痢の多いことですが、傳染病の中でも秋季に多い特に四、五、六歳の幼兒を冒すものは、恐しい猩紅熱であります。此の病氣に罹りますと、覆盆子舌と申して舌が紅くなり、全身に真紅な發疹が出るので、殆んど猩々のやうになります。そこで猩紅熱と云ふ名

がついたのです。そして高熱があつて喉の痛、頭痛など激しく訴へるものです。

先づかういふ状態を發見しましたら、猶豫せずに届出が必要で、應急策としては冰嚢を貼すると、多量の牛乳を飲ませることです。豫防法としては、患兒を出した所は交通遮断すること、すべて患兒と接觸した物品は消毒若しくは焼棄すること、校舎又は家庭ではフォルマリン瓦斯消毒を行ふことなどで、そして猩紅熱患兒は皮膚が剝れて全快したやうな顔を呈してゐても、六週間乃至八週間(發病後)は外出させることが出来ません。これは傳染力の強いものですから、公衆道德上の觀念を必要とします。それから傳染する原因はある細菌的病毒に因るものであることは疑のないところで、殊に細菌は猩紅熱に罹つたものの皮膚の落屑、又は口腔の分泌物に多く含まれてゐるのです。(終)

とんぼの話

哲化生

高く澄み切つた青い青い初秋の空を、白く浮んだ雲の下を、輝かしい真晝の陽をあびて、樂しさうに心地よげに、行つては來、來ては行くあのとんぼは、如何に子供達の驚異の眼を見張らせるとしてせう。

ほんの小さい溝の様な水溜りにも、今頃は赤蜻蛉が小さい飛行機の様に群り飛んでゐます。必ずそこには蜻蛉の數にも負けぬ位のもち竿と日に焼けた子供の顔が眼を光らして丁度戦争の時敵機を叩き落す位の氣持で、追ひまわしてゐます。しかし空の王者の様なとんぼは仲々落ち竿にさわりません。彼の眼は一寸外觀から見てもわかるや

うに非常によく發達してゐて、その大きい複眼は後の方にも一部は向つてゐて殆んど半球形以上の圓さがある上に頭部の附根は非常に廻轉に便になつてゐるので一層よく利くやうに出來てゐます。ですから如何に速く子供が竿を振りまわしたとて餘程の機會でないと飛んでゐるときは捕まりません。

そのよく利く眼で、あの速く飛べる翅で、とんぼが空を翅り廻るのは、美しいとも、勇ましいとも自由そのものだと云へませうが、とんぼ自身にとつては——勿論科學者の想像で、とんぼに云はせれば又云ひ分もあるかも知れませんが——バン

を得んが爲に外ならないのです。彼のバンは生きてゐて逃げます。蚊とか蠅とか時には小さい蝶や蛾までが餌食となります、それ等を捕へるためには、あの快速の翅と千里眼なくては餓死してしまひます。とんぼが外觀上優美な點の外にどこかいかめしい感のするのも、英語で（ドラゴンフライ）龍と云ふ字をつかつてゐるのも彼が空の狩人の商賣であるからであります。とんぼは子供達でも小さい子供は恐れて手を出さぬ子がありますが、やはりその大きい眼、頑丈な顎等からの感じからではありますまいが、又同様の事が英國の田舎であつて英國のある地方ではとんぼをホース・ステインガード（馬を刺すもの）と呼んで恐れてゐる

さうですが、刺す道具は、とんぼは持つてゐません。しかしそれ等の小さい子供等に恐れられてゐる以上に蠅等の小さい昆虫達には恐れられてゐよくとんぼが飛んでゐて、急に方向をかへたなど

思つてゐると、あの大きい口に小さい虫をくわへ乍ら、何喰はぬ顔をして平然と飛び乍らムシャムシャ喰べてゐるのを見かけます、その口は特別に捕食に便に出来てゐますが面倒な構造は抜きにしても、時々前肢で口のまわりをこする位で唯口だけ動かして食べてしまふ程便利な口なのです。

とんぼが小さい虫達を捕へて食べると同じやうにとんぼ自身も時々かまきり等に食べられます。先頃庭先の竹の葉の前で大きいかまきりがむぎわらとんぼをあの鎌で挟んで、あの三角な頭をまげ乍らむさぼり食つてゐましたが、しばらくしたら頭と翅と足だけ残して皆柔い所は食べてしまつてゐました。

とんぼの飛び歩く時間は陽のかんかん照つた日中に限られてゐて、その頃には彼の好物の小虫等が出盛る時間なのです。何しろ太陽の熱い光澤が好きなのですから、雨が降れば勿論の事、曇つた

してもあまり活動したくないので、ものうげに木の葉や草の葉にぢつと止つてゐますが、雨が降つた後快晴の秋空は、とんぼにとつては最もうれしい時ですから、赤とんぼ(あさあかね)は群をなして垣根の縁から電線の上から物干竿の上まで列をなし、うす柔い翅を輝く陽にさらしてゐます。そんな時には必ず水溜りが出來るので、その上を低空飛行して來ます。これは主として産卵のためであつて、とんぼと水溜りとは切つて切れぬ縁があるからです。とんぼの産湯の桶はこの水溜りであると同時に、あの自由な活潑な華やかな生活をする前には、暗い静かな前半をこの水溜りで暮さねばならないのです。そのとんぼの水の生活は後に又述べるとしますが、この様に陽の照つた時には活動しても曇つた時に休むのはどう云ふ場所であるかと申しますと、水邊の草の上等が最も好む所なのです。小川の邊の水草の上、沼地の邊の林

の葉陰等は休息の地としてお誂へ向きますが、町の中などでは庭先の植込とか、色々の樹の葉等に止つてぢつとして休んでゐます。よく夜になつて街燈だとか、涼風を入れるために開け放した家の電燈等に飛び込んで来て子供達の玩具となつて捕へられます、これもその光線を好む性質が然らしめたのです。

晝の陽のあるうちは、あの強い大きい翅で青空を我物のやうに飛び廻つて、食物をとり友達と交際して忙段されて居り、時々木や葉にとまつて休み位のものですが、一日の労働につられて求める休み場所は彼の安息の地であつてその場所は定まつてあり、長い旅に出てはその安息の地で休み、又再び長途の遠征にのぼり歸つて來ると又同じ場所で休むと云ふやうに、同じ安息の地を根據として活動をして、決して無暗に飛んで住所不定でうろつくと云ふことはありません。時によつて

は同じ場所で同じ木のしかも同じ葉にとまることがあります」と云はれてゐます。

かく、働いては休み、休んでは働いてその日を送つてゐるトンボは自己の生存を確立させると同

時にすべての生物と同様に子孫の繁榮をはかることを一生の終局の目的として持つてゐますので、晴れた陽の強い秋空に亂れ飛び無数のトンボは無上の快樂に酔ひつつ、戀愛の亂舞、結婚の舞踏を續けて、果ては雌は子孫が最も安全に繁榮出来るやうに適當な水溜りを目がけて滑るやうに飛び、その上を行き來して尻を少しまげ乍ら、母の愛から子の安らかなるを祈りつつ産卵し、終れば程なくその生を終へのです。

トンボの自由な華々しい空の生活の前の生活は到底その次の美しい姿を想像すべくもない變つた姿です。卵から孵つて、程たつと水中の水草の根とか、水底の泥の中とかに、一寸見ると蜘蛛のや

うな怪物となつて、あの明るい陽のまぶしい空とは比較にならぬ暗い陰の中に、あのスレンダーな空の姿とは變つた醜怪な姿となつてぢつと潜んでゐます。

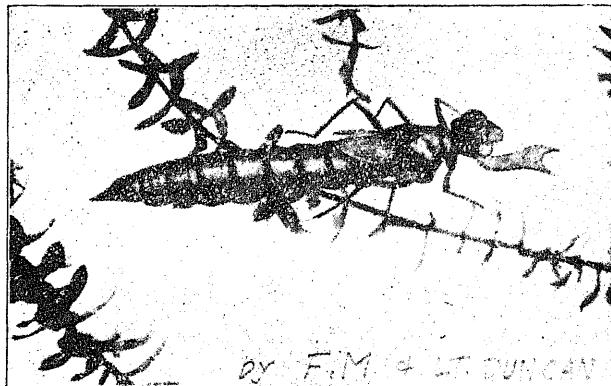
かかるとんぼの前半生即ち通常の昆虫の幼虫に相當する時期を「やご」と稱んでゐます。夏の中から秋の始めにかけて、近所の池でも水溜りでも沼でも小川へでもお出になつてごらんなさい。そして魚をすくふ「たま」とか云つてゐる網で——何んでもすぐふものならかまひませんが——小川なら川の底を泥と一緒にすくつてごらんなさい。天候はどうでもかまひません。唯川でもあまり大きかつたり、水が早く流れたりしてはダメです。田の間を流れる小さい川(巾が二三尺位)などは最も多くありますし、田の中でも——あまりかきまわすとお百姓さんから叱られます——その泥の中に澤山もぐつてゐます。沼でも結構です。何しろ

すくつて見れば、その泥の中によちよちと動いて歩く奇妙な恰好の虫がゐます、今頃の様な初秋ですと割合と小さいものが多

いでせうが時によると色々な種類のものか捕れます。

これこそ、あの優美なとんぼの前身の「やご」なので

「やご」にも大小種々あります。「やんま」の類の「やご」は非常に大きいですが、今頃多い、秋あかねの「やご」は又製の水槽のうちに多少の水草と共に入れておいてごらんなさい。子供等にとつてはとんぼの子供がかかる感じのものであると云ふことは確かに驚異でせうし、昆虫の戀態と云ふことに何等か理解することがあるでせう。これを飼育するには別に何の手間もかかりません。唯時々水が腐らぬ程度でサイフォンで水を一部分とりかへてやりさへすればいいのです。水槽の水面より高い位置に新しい水を盛つた器をちき、その器の水中にゴム管でも曲つたガラス管でもの一端をひたして他端を水槽の上におき、その管中の空氣を吸ひとつて管内に水を満してやれば自然これは管を傳つて流れます。それと同様に他の同様な管の一端を水槽中に入れ他の一端を何か他の器の上において管中の空氣を抜くと汚れた水槽の水はその器へと流れ出ます。こうして水槽には新しい水を入れ汚い水を出



して水の交換、行はれるわけで、この操作を水がくさらぬ程度で、時々する必要がありますが、又あまり清い水ですと中に微生物や小さい昆虫かるなくなつて餌にこまることがありますから、一部分づつ時々取りかへるので丁度よいのです。

かくして水槽に飼はれた「やご」は程たつて、一
—その期間も「やご」の種類で、一様に云へません。
各自實驗なさつて下さい——漸次形がかわつて來
ます。初めはどう見ても翅となるものなんか無い
様に見えますが數回の脱皮をするとその泥色の殻
にも小さい翅の外形が出来て來ます。この「やご」
はとんぼと外觀や運動の方法は似もつかぬもので
すが、その習性とする捕食性は同様であつて、と
んぼが勇ましく空を翔るのに反して「やご」はぢつ
としてゐて小さい虫等の傍に寄るのを待つてゐ
てあのとんぼと同じやうな強い口で餌物を食ひま
す。主に餌物となるのは小さい昆虫で、水槽で飼

養する時に、「みぢんこ」、「ぼうふら」等を入れてやると好んで食べるやうです。あの泥の様な色をした皮を着てぢつとしてゐるときはどうしても草の根が塵位にしか見えませんから、暗い所を行く小虫のうつかりしてゐるもの、亦致し方ないでせ
う、この醜い虫もやはりどこか恐ろしい感じがあるのではせうか、英語で「ドラゴン・オブ・ザ・ブル
(水溜りの龍)と云はれてゐますが、小さい虫を餌とする「やご」自身が、あの狡猾な「水かまきり」の餌となることは可成しばしばあるやうで、先頃數十匹の、夏あかねのやごを三匹の水かまきりと一緒に水槽に飼つてゐたら數日を経ないで全滅させられたことがありました。そんな色々の他の昆虫との關係等も、一緒に他の昆虫を飼つておいて子供等に觀察させるのも興味あることではせう。

段々と日が経つに従つてこの水の怪物は成長し前にも申しましたやうに、他の昆虫の幼虫と同様

に脱皮をなし、その都度少しづつ形がかはつて来て、腹部は段々と長くなり、翅を包む殻の部分は段々と大きくなつて來ます。これも飼つてごらんになれば仲々興味あることです。さて、さうして大きくなつて來ますと、いよいよ長い間の水の生活に別れる時期が來たので、「やご」は何となく不安な様な様子をして來て、たゞあちらこちらに動き廻り始めて、うろうろしてゐますが、水邊の草の水の中にある部分へあの足で抱きついて、やがて、よちよちと登り始めます。一寸水面のところで休んで又一生懸命によぢ登り、水草の水面から相當の高さに生えてゐるものを、どんどん登つて、頂上に行くと、まるで水面を見下して、自分の住みなれた家に別れをつげるかの如く、又は附近に危害を加へるものがありはしまいかと警戒するかの如く、あたりを見まわします。どうするかとぢつと見てゐると、とうでせう。又今登つた

草を下り始めるではありませんか。何のなめに降りるのか知りませんが、こんなことを二三回繰りかへしてやり、見てゐる方をいらいらさせます。三回目位には登つてしまふと、しつかりした足場を見付けてそこへ六本の足を釘付けにしたやうに動かなくなります。するとしばらくは静かな動かない休息の時期が來ます。

とんぼは不完全變態で蛹の時期を経ませんが、この休息の時間は短いとは云へ、蛹の時期に相當するといつてもいいでせう。ほんの僅かの時間たつと、ぢつとしてゐるうちに「やご」の體は何んとなく光澤が出て、中が充實したやうに、ハチ切れるやうになつて來て、眼なども遙に大きくなり、まるで光るやうに光澤が出て、翅の鞘も光つて来ます。いよいよ脱皮です。昆虫の多くの脱皮のやうに、背が割れます。肩が出ます。最後に腹と足が抜けて、出て來た姿は、又あのとんぼとは似ても、

青白い、柔かい、絹の様に光る體で、翅も皺だらけでとても使へさうにもありません。

然し、初秋の強い太陽は、青い空を通じてにこやかに微笑みかけてゐると見るうちに、青白い翅は皺をのばして、輝かしい丈夫さうな翅となります。體にもちやんと色がつき、秋あかねであるなら、あの真紅の美しい色は秋の陽に漸次染め出されて、いよいよ一人前のとんぼとなります。さうすれば羽ばたきして見て秋の空へかるく飛び上り、水の泥の中の過去と現在の自分を比較する如く、住み古した水溜りの上を行き來して飛び去ります。

この様にとんぼの脱皮して成虫になるには強い秋の光澤を必要としますから、秋の空の晴れた日は、曇つた日に比較して非常に多くのとんぼをつくり出します。

この前に述べました経過は水槽の中で充分見ることが出来ますが、水草を水槽中に入れることを忘れてはいけません。それから念のため水槽に網をかけておけば生れたとんぼも逃がさずにつみます。網をかけぬと、知らぬ間に抜け殻だけになつてしまつて、實物のとんぼはどこへか飛んでしまつてゐることがよくあります。成長したとんぼを飼ふことは至難ですが、「やご」を捕へて来て、「やご」からとんぼになる経過を水槽中で幼児に見せるのは興味多いことでせう。又成長したとんぼを網のうちに入れて、これに蠅の生きたのをやるとその捕食の方法がよく觀察出来ます。

さて、長くなりましたが、大體とんぼの習性等を申し上げましたから、次にはとんぼの種類について簡単に述べませう。

とんぼには大小様々のものがありますが、それをくるめて「とんぼ目」と云ふ動物分類上の位置が與へられています。「とんぼ目」の内には四つの科がつくられて、とんぼは四つに大きく分けられます。とんぼ科、やんま科、いととんぼ科、かはとんぼ科の四つで、とんぼ科はごく普通のとんぼです。

先づ今頃、電線の上や垣の縁のやうに列を作つて一杯に群がり止つてゐる身體が赤くて翅は根本の所が少し赤味がかつてゐる小さいとんぼがありますが、あれは「あきあかね」と云ふ名で、通稱「あかとんぼ」と子供等は稱んでゐます。同じあかとんぼでも夏出るのは「なつあかね」と云ふのがあつてこれは口が少しちがひます。「なつあかね」でも秋に出ることがあります、然し大抵今とんびる、あかとんぼは「あきあかね」です。子供達の眼には皆同じあかとんぼとしか映じないのであるが、あかとんぼにも色々とあるのです。あかねの二種の外によく真紅の色の體と翅のある、あかね等より遙に大きいあかとんぼがありますが、これは「せうぜうとんぼ」と稱んでゐます。よくゐるので眼の速い子供にはよく捕られます。その他、色がもつと黄色くて翅まで黄色い小さいとんぼがありますが、これは「うすばさとんぼ」と云つてゐます。未だ赤いとんぼに「みやまあかね」と云ふのがあつて

これは翅に褐色の斑が入つてゐるからよくわかりますが、名前に相當せず、よく平地を飛び廻つてゐます、赤とんぼはその位ですが、赤とんぼに次いで子供の眼に付くのは、今頃は少しは減つたかも知れませんが非常に一般にあるので有名な、「しほからとんぼ」と云ふのがあります。これは子供等がよく知つてゐますが、よく似た名前と身體を持つてゐる「しほやとんぼ」と云ふのがあり、「しほやとんぼ」の雄は「しほからとんぼ」とも云はれて、子供達が云ふ「しほから」にも二種あります。

この「しほやとんぼ」の雌が例の「ひざわらとんぼ」です。「しほやとんぼ」は「しほからとんぼ」より出る時期が早く五月頃に出来ます。それ等極めて子供と密接な關係を有するとんぼ類の區別は子供の頭にもなるべく、はつきりさせておいたらどうですか。その他珍らしい變つたものも多くあります
が、一二例をあげますと、翅が色がついて大きくて體の小さい美しいとんぼもよくとんでゐます。

その形からして、「てふとんぼ」と云つてゐます。これはあとで述べる「かはとんぼ」とは異つて體が小さいから見分けがつきます。その他、こしあきとんぼ、かほじろとんぼ等と云ふ變りものがありますが、前者は腰に當るところが白くなつてゐるし、後者は顔に當るところで白くなつてゐるのでその名を得たのです。その外よく「やんま」と間違へられる位大きい黒い横に黃の筋の入つたとんぼがありますが之は「あほやまとんぼ」と云はれてゐます。話はやんま科に移ります。

「やんま」はとんぼのうちでも大きいので子供達にとつては空の王者の様に思はれ、「やんま」一つ捕ることは、「しほから」や「むぎわら」を捕るよりはるかにうれしいやうですが、その「やんま」のうちでも王様は「ちにやんま」です、大きさでも大きいし、その速さは恐るべく、その口は蝶や蛾までも裂き喰ひます。空は高い所をのみ翔り、夜でてもないと決して休んで止まりません。次に「ざん」と

通稱云はれる「ざんやんま」も子供達のあこがれの對象ですが、これも仲々勇ましくて、強いとんぼです。その他變つたもので、「こしほそやんま」と云ふ腰の糸の様にくびれたものや「うちわとんぼ」と云ふ尻の變なものもあります。次は、いととんぼ科ですが、これは子供達の「とほすみとんぼ」と云つてゐるものに入るもので、細い小さい可愛いらしいとんぼです、次の「かはとんぼ」は、名の如く川邊によく見られるもので、井の頭公園の池の邊や川の邊にはよくあります。翅が體の小さい割に大きくて、美しい色がついてゐます。「はぐろとんぼ」は雌は黒紫、雄は綠の美しいとんぼです。「かはとんぼ」は皆美しく、伽噺のフェアリイになるのはこれではないかと思はれます。とんぼの種類の話は簡単ですがこれで終りに致します。何しても子供と、とんぼは離すことは出来ません。とんぼの正しい知識は子供等によつて喜んで吸ひ込まれるにちがひありません。

童話の口演（お話漫筆の六）

長尾 豊

一

お話の口演がいつの頃からか實演と稱せられて、其の實演がさかんに成らうとしてゐる。實ははじめの間に口演も實演も同じものだぐらんに考へて居たが、此の頃ではどうやら實演といふものが別にあるやうにも考へられて來た。幼稚園や小

學校のお話口演、お話の時間に話され聞かれするものと、別に子供會などで話される實演とは、めつたに混淆出來ぬやうにも思はれて來た。

と言ふのが實演家の多くは、ある話を持つて變つた場所へ出掛ける人であり、保育室や教室でのお話といふものは、同じ場所で同じ人を相手にし

ての仕事である。そこで今假に實演家がタツタヒとつの話を持つて甲地から乙地、丙丁……と巡講し、保育室や教室でタツタヒ一つの話を毎日々々聞かせたとしても、其の間には大變な違ひがあると思はれる。

實演の多くは外に出掛けての仕事で、従つて其の度毎に變る場所なり相手になりに對して準備もすれば時によつては警戒もしなければならぬ場合も起り得よう。實演家はよく「登壇するまで」といふことを喧ましくいふ。肩が下つてはいけないとか、壓迫を感じてはいけないと、まるで試合にでも臨むやうな事を言ふが、保育室や教室のお話

にこんな注意や研究は全く必要であると思はれる。時には却つて有害でさへあると思ふ。

實演家が其の研究をするのは必要上止むを得ずするのであらうが、同じくお話であるからと言つて保育室や教室でお話をする人達までがさういふ風に成つたら、折角の注意や研究も所をあやまつた何にもならないものとならう。おういふ事は宜しく實演家に一任すべきである。

二

話術の修行といふ言葉も少しく異様に聞えるが、いづれも話をするのは一種の技術であるから、話術でも何でも好いとして、教保育室や教室でお話をする人の技術と、百人千人を集めこの實演家の話術とでは、違ふ所がなければならない。其の相違を無視して實演家の戦法のやうな技術を學んだら、狭い所で大長刀を振廻すといふ結果にも立到らう。

職業的な専門的な話術者と、これらの實演話術家との間に距離があるやうに、實演話術家と教育的な話者との間にも相當の距離があつて好い筈である。それと同時にすぐれた實演話術家が職業的な専門的な話術者から學ぶべきものは學び、攝取すべき所はつとめて攝取を怠らないやうに、教育的な話者もこれらの實演話術家から學ぶべく、攝取すべきことは決して少なくはないであらうが、只其の攝取し方、用ひ方が問題である。聞くところによると今の實演家の練習方法のひとつとしては、大家の話しぶりを其のまゝ真似るといふ事があるようだ。考へやうによるとこれはカナリに危険な話である。なぜと言へば素人で真似をして似せられるのは先づ大抵缺點短所の方が多いからである。

「或所に狐がゐたんですつて、すると其の近所に、狼がゐたの。狼知つてるでしょ。」といふやう

な話方は、堂々たる實演風の話術から學ぶべきものがあらう。けれどもそれと同時にち話をするといふよりはむしろち話を讀む、朗讀の心持からも、學ぶべきものがないであらうか。きはめてユックリ落着いて讀んで聞かせる、ち話を讀むといふことも確かに一つの技術である。

三

人によると「しました。」のつく話を嫌ふ人がある。「ました。」があると話憎い、多少ヨソ／＼しく改まるので固くなるのか、「ゐたの」「ゐたんですつて。」で柔味をつけたり、又は説明句なしの目

ま苦しい擬聲と動作で、幼い子供達をヤンヤと言はせたり、又茫然とさせたりして、十分分つたものの、話が通じたものと思つてゐる人もある。けれどもさういふ話の多くが、實は分らせたり傳へたりするのに十分何物とも持たず、又きはめて稀薄である場合が多い。

お話を與へるならばち話の形として與ふべきで年齢等による形式の相違も、實はち話として考へられなければならない。ほしいまゝな兒童化や動物化のみがそれをよくするのではない。其のためにお話をする人は、肩や手がどうかうと態度身ぶりにつとめるよりも朗讀吟誦諷詠などの、外にも参考とすべきものがないわけではない。やさしい美しい文體のち話を讀むことは、やがてち話をして聞かせる階梯とならうが、それにはいかゞはしい假作物などてない筋目の正しい童話、幼兒童話等で始められるべきものと思ふ。

殊に幼兒にあつてはオラル・リテレチュアとしての童話といふ、大切な役目がある。實演童話といふものは、まだ其所まで到達しては居ないやうである。擬聲物眞似の話方では、始めからそんなことは考へて居ないやうである。でなければ少なくもあゝいふ話方を考へつく筈がない。

林間保育隨想

前橋幼稚園 園醫 狩野壽平

前橋幼稚園で夏季休暇中の施設として林間保育所を開設したのは、大正十二年で恰も關東大震災直前に相當してゐた。これを全國的に見るならば最も早く着眼した試みとして誇るべきものあるを信じ、徐ろに當時を追憶し今日に及んで見たいと思ふ。創始當時にあつては園當事者たる森島園長を始め一般保姆にしろ、末席を汚す吾々にしても、日常の保育とは全然勝手が異つてゐるから、如何なる結果を招來し或は如何なる故障に直面するかといふ杞憂はむしろ恐怖に近いものがあつたと同時に保護者も同一心理の虜となつてゐる爲め出席勧誘にどれ程苦衷を嘗めさせられたかは想像

も半ばに過ぐるものがあつた。又中には林間保育に對して一つの謬見をすら持つものがあつた。夫れといふのが前橋市内の各小學校では時を同じうして林間學校を開設し虛弱兒童の救濟にこれ努むることくなつたので、幼稚園の施設も同一軌上に立つものではないかといふ誤解から引つ込み思案を餘儀なくするものなどがあり、五十名の出席児勧誘に大きな煩らひを蒙つたものである。しかし林間保育は一般幼兒の健康を増進すること——それ自體が目的であるといふことが、漸次理解され年を追ふて今日の發達を見るに至つたものである。御承知の如く夏季休暇中の家庭に於ける幼兒

は偶々夏季衛生の不注意から疾病に陥り、或は間食が過ぎて運動不足を來し、それが誘因となつて發育を障害する嫌ひがあるので林間保育は其の點に細心の注意を拂ひ、極めて自由に遊戯せしめつゝ、衛生的生活を營ませるといふことを唯一の信條としてゐる。斯の如くして閉鎖した曉に體重を調べて其の意外なる増進ぶりに驚き且つ輕微な疾病は快癒してゐる事實や皮膚の強健など一として驚倒せざるなき幾多の實例を殘してゐるので眞に欣びに堪へない又一般家庭では古くから幼兒を裸體にして外光に晒すことは有害であるとまで極言してゐるが炎天下に可憐な五體を晒し、日光を浴さしめ新鮮な空氣を吸收せしめることの効果の甚大なるは今日までの統計がこれを立證してゐる。即ち夏季林間保育に出席した幼兒を調査して見ると、冬季に入つてから休園率の少いことに依つて見ても實績の明らかであることを知悉し得る、又

創始當時は林間保育に不慣れであつた保姆諸君も永年の經驗と蘊蓄を傾けてゐるので、今日では吾々の容喙を許さぬまでに向上進歩の跡を示し、生々滋潤たる自然園が描れたことは激賞するに吝かない、尙ほ設備としても最近では見るべきものが多く就中最初は午睡をうまくやれるか何うかを非常に心配したが毒虫の豫防と風邪の豫防法にも功を奏し、幼兒をして立派に習慣づけるまでに立ち至つた、一面歐風のハンモックを排し日本人は飽くまでも平地に就寝するの適してゐることを確然と知り得ることが出來た。又毒虫に刺されず、風邪に冒されぬ秘訣については相當工風を凝らした結果先づ幼兒に大巾三尺づゝのフランネルを興へ、これを胸部を始め腹部から足部の方まで包んでしまい、絶對安全を期して就寝させると共に枕を個々別々に新調することは經濟的にすべての點に許されぬ爲め、フランネルの白布で六尺通しの

枕を考案したが、之等も多年の苦心の賜として園長 二次的企てとして市費を授じて、全兒童を前後二班
以下保姆諸君の努力を推賞するに恥ぢない。尙ほ第 に分けて收容するの日を鶴首して待つものである。

光輝ある前橋幼稚園夏季林間保育

一 保 護 者

幼兒保育上に劃時代的な足跡をした前橋市 立幼稚園の第七回夏季林間保育所は各方面の絶大 なる期待裡に去る七月二十五日から八月十三日まで二十日間に亘り、豊かな綠の色調に富み、清冽 な小川を配した敷島公園畔、松樹の自然林を樂園 と定めて經營の運びに至つたが、大正十二年以來 の光輝ある歴史と多年の經驗とを保有する園長の 森島順之助氏を始め、野村、茂木、笠原、久保、 千吉良、本間、村岡、矢端、矢間、反町、新山、 田口保姆等の献身的な無給奉仕に依る七十五名の

幼兒は心身共により健全に、より優美に誘導され 爲めに市當局と各保護局から多大なる讃辭と萬腔 の感謝とを寄せられ、豫期に反せぬ結果を招來し て芽出度く帷を下したが、水浴場に砂場にあらゆ る天與の自然園たる同所に於ける前後二十日間に 亘る保育料は連日の自動車送迎料、間食代（午前 中牛乳、午後適宜の間食）ともで僅かに五圓といふ破格な料室であり、如何に民衆的な夏季施設であるかは賞讃に値する。

セルリの栽培

(六)

大 岩 金

定植

充分根の張つた苗が出来上ると本畑に植出され
ばなりません。是を定植と申します。

苗床から苗を取る時特に注意を要することは
無理に抜く爲に腰折れ苗を作る事であります。苗

の腰が折れますと根がよく張つて居りましても生
育が一時中止されますのでセルリ生産上大きな打
撃であります。

定植の距離

植付ける距離は軟白する方法及土壤の肥瘠等に
依つて決定されるものであります。軟白するとは
彼の葱で御覽の様にセルリの莖に葉綠素の出来ぬ
様にする事であります。

注意して取つた苗は平に整地された本畑へ運ば
れます。本畑は丁寧に整地してから畦が南北に正
しく出来る様に網等を張ります。畦か南北にする

軟白の方法にも種々あります。が主なものは板圍に依るものと、覆土に依るものと自身の生育に依る鬱密に依るの三方法であります。板圍に依ります時は三フィートの畦間に四インチの株間といふ程度のものが行はれます。覆土に依ります時は普通四一五フィートの畦間で株間は六インチ位として二畦造り二列あきに六フィート位の空地をおく必要があります。前者は板の經濟後者は土地の經濟等を講究して種々の方法がありますが軟白の方法に關しては後項を新にして記述しやうと思ひます。

次に植付距離に關する一例を表示致します。

畦巾	株間	軟白方法	板使用量	苗の本數
単位 フィート	単位 インチ			
三(一列)	四	板	一エーカーニ付 二エーカー二付	二〇〇〇
四(二列)	六×六	"	四四・〇〇	二〇〇〇
五(一列)	四	"	三五・〇〇	二〇〇〇
六(二列)	六×六	土	六〇〇〇	二〇〇〇
八インチ	八	土	四九・〇〇〇	二〇〇〇
自身				

以上の距離は多年の經驗から出たもので最も有利なものであるさうであります。が爲には相當多くの労力を要するものであります。併し需用の如何に依つては軟白方法を一時に行ふ事なく必要に應じて施行するのが有利であります。

一般にセルリはあまり瘠せた土地へは栽培されませんが土壤が瘠せて居れば作物の繁茂も少ない譯でありますから植付距離も近くてよいのであります。

中耕

苗を本畑に定植してから軟白を始める迄の間になすべき仕事としましては畦間の耕耘即ち中耕であります。是はなるべく屢々行ふ程良結果が見られるのであります。目的は稻の田の草取りと同様て除草する事も目的の一つでありますが、是と共に土壤を攪拌する爲に土中に多くの日光及び酸素

を給與し肥効を良好ならしめる事が其の一であり

灌 水

ます。尙其の三として乾燥防止の役をも兼る事は毛細管現象を断つ事に依つて行はれます。

耕し法は始めの中は比較的根際を深く行ひますが成長するに従つて淺く且つあまり根際でない處を耕すのであります。益々苗が生育繁茂して來ますと自然と地表を覆ひまして次第に雑草も生じなり、乾燥も防止される譯であります。がやはり耕耘は行ふ方が有利であります。

序でありますから中耕する道具に就て述べても

きます。大規模の栽培の場合は労力を省く爲に工夫された専門のものがありますが一般家庭に於て使用されるものとしましては鍬があれば充分であります。が是より一步を進めましたもので「レ・キ」セルリ栽培上肝要な事に相違ありませんが然しこれには天然の降雨と耕耘とに依りまして殊に人工に依る給水は行はれませんが又一方極小規模の場合におきましては此の方法を行ふのもあへて不利でない事もあります。

大規模の栽培におきましては特に明渠或は暗渠等によりまして水源地から引水して灌水する場合もあります。明渠とは文學通り溝で水を引きますし、暗渠とは土管に依りまして地下に水を引き毛細管現象に依りまして給水する方法で前者に優る

事大であります。が経費も相當入用であります。右何れの方法に依つて灌水しましても水そのも

のを作物に給與する以外に水分中に溶解して居る養分をも作物に供給するといふ點は特に注意を要する點であります。それが下水道の水等の場合殊にさうであります。

セルリの病氣

小規模栽培の場合には少し注意すれば病氣を蔓延させる様な事はありませんが是に反して大栽培の場合には相當恐るべきものでありますから作物の病氣といふ事に對する概念を示す目的で以下に少し記述します。

抑々發病の重なる原因とも見るべきものは先づ氣溫であります。次が濕度であります又土壤及日照等も密接の關係があるものであります。

過濕に依る病氣。此の中には種々ありますが必要するに根及莖が腐敗する病氣であります。殊に播種床にちきまして發芽後一週間位の項が最も此の

病氣の爲に根際を侵され易い時であります。

此の病氣の豫防としましては日照をよくする事適度の通風を計ること、降雨の多過ぎる場合の如きは雨除をする事等であります。若し本畑等でありますなら排水に注意せねばなりません。

晴天にボルドー液の撒布は豫防及び驅除の効があります。

腐敗病。本病も過濕と溫暖な氣候の場合殊に發生し易いものであつて冷涼な夜間の氣候は本病を抑制す事が出來ます。

尙本病の習性として始めの内は灰色の斑點が葉の表に表はれましてそれが次第に葉一面に覆ひ褐色に變じます。でありますから發病の始めてに發見して拔除焼却するのが第一の豫防であり驅除でもあるのであります。

斑點病。本病は腐敗病に似て居りますけれども發病は葉の裏面から始まり暗褐色であつて病氣の

進むに従つて胞子は全葉を覆ふ様になります。

銹病。赤褐色の胞子の附着する事に依つて發病しますが本病はあまり大きな發生はない様にいはれて居ります。

根瘤病。本病は充分に施肥した土地に栽培した時等に發病を見る事は少なく、病状は根に多數の瘤を生ずるのであつて殊に連作した場合に多く發病するともいはれて居ますが本病に關してはあまり多くを知りません。

其の他のセルリの病氣としましては貯藏中とか軟白中とか或は溫暖で濕潤な氣候の場合とかに Heart rotといふ病氣が發生する事があります。その病氣は文字通り心が腐るのであります。始めは暗褐色或は黒色になりまして殊に貯藏中等多少の發生はやむを得んとまでいはれてゐる位であります。豫防の方法としまして貯藏中は通風を計ること及び冷涼にする事は忘れてはなりません。又葉

部等に水分を着けぬ様にする事が肝要であります。

セルリの病氣の薬液による豫防法

多少の發病があるといふ事は到底免る可からざる事ではありますが出來得る限り被害を輕減せしめるといふ事は最も心せねばならぬ事であります。それには先づ苗床時代から注意して軟白を始める迄は少なくも十日乃至二週間ちき位に必ず相當の薬液の撒布といふ事を怠らぬ様勵行することが重要な事項であります。

炭酸アンモニア液。是は特に腐敗病の豫防に有効であると稱されて居ります。その製法は一オンスの炭酸銅と同量のアンモニア水との水に溶解したものをおガロンの冷水で稀釋したものが用ひられます。が特に注意すべきは此の薬液の反應は必ず中性である様に調節せねばなりません。でありま

せんと作物を害する事があります。

セルリ用ボルドー液。本薬液の製造には先六・ボンドの新鮮な生石灰を少量の水で充分消石灰にして後二五ガロンの水を加へて石灰乳を造る事、是と同時に六ポンドの硫酸銅即ち丹礬を二五ガロンの水に溶かす事、この場合は前記の水の中へ前記の丹礬を綿布或は麻布等にて包んで垂下溶解せしめます。右二液を必要に應じて混合して使用するのであります。がそれには先づ五〇ガロン入の容器を用意しておきまして前記二液を同時に注入してポンプ或は攪拌器等を用ひて充分攪拌して中和の有無を驗して使用するのであります。が此の混合液は數日間放置しますと石灰と銅が分離作用を起しまして作物に有害になりますから必ず新鮮なものを使用せねばなりません。

アンモニアボルド液。此の薬は前記の石灰の代りにアンモニアを用ひて造るのであります前記

の石灰乳が作物の葉を汚損しまして葉一面に白い斑點が出來るのを防ぐために使用されるものであります。結局前記ボルドー液の缺點を除いたものであります。が経費の點で極小規模か又は特別の事狀の許にのみ用ひられます。併し又石灰ボルドー液に依る汚點は少量の酸(酢を用ひて可)を多量の水に滴下してその水にて汚ふ時は頗る容易に除去する事が出來るのであります。

薬液の撒布の方法

此の仕事は相當重要なものといはねばなりません。

一朝發病を見ます時は爲に收穫を激減しますから事を未前に防ぐ事是最も必要な事といはねばなりません。それには苗床時代即ち多數が一ヶ所にある時代に充分に豫防しておく事は手數の點からいつても有利でありますから先づ此の時代に薬液

の撒布をしておかねばなりません。それから本畑に植出して後も少なくも四——六回位は薬液の撒布を行はねばなりません。

薬液撒布の道具としましては所謂噴霧器を用ひればよいのであります。が規模が大きくなりますとそれに従つて種々の装置のあるのが出来て居ります。

清潔法

一般に耕作をする時は雑草はもとより他の残存作物をも畑に埋め込むものであります。がこの事は病氣豫防といふ點から見て最も忌む可き事であります。即ち其れ等残存作物に附着してゐる病源體は土中に潜伏して次期の耕作物に寄主を得て猛威を振ふる危険を考へねばなりません。

セルリの病氣に對する一般的注意事項

セルリの多くの病氣は總て傳染性のものでありますから傳染の慮ありと思はれる事は除く様に注意せねばならぬ事は當然の事であります。が先づ第一に作物其れ自身を強健に育てるといふ事が肝要な事は豈其作物栽培に於てのみならんやであります。次は被害された植物は如何に小片でありますても散亂させる事なく注意して集め焼却するといふ事も忘れてはならぬ事項であります。尙其の上に薬剤の撒布に依る豫防も怠らぬ様心せねばなりません。又セルリ畑の附近に雑草が茂つてゐる様な場合には最も注意を要するのは其の雑草の處分であります。つまり雑草に對しては病氣に對し何等豫防法を講ずる者はないとせねばなりません。でありますから一朝この雑草中に病氣の發生を見ます時はたゞまちセルリ畑にも累を及ぼす事は推定に難くない事であります。でありますから附近の雑草の處置といふ事も大いに考慮せねばならぬ問題の一つであります。

幼稚園の遊戯

——遊戯講習會に於ける講演の大要——

高橋キヨウ

「人生僅五十年」其のはかなさに更に又悲しむべき改めをしなくてはならぬ發表が御座いました、既に御承知、且、これらについて、萬策を講じて下さいになります事とは存じますが、こゝに改めて其數字を申上げ、再び、凝親し、現狀を知ると共によつて來る、その禍根をたち、かゞやかしい將來を將來すべく、覺悟を新たに致し度いと存じますローマは一日になつたのでは御座いません。堅き氷も薄氷より 御座います。

昭和四年四月十七日内閣統計局發表

		各國平均餘命				
		年齢	日本	英國	米國	獨國
四〇歳	男	○歳	男	女	男	佛國
	女	一〇歳	男	女	女	瑞 典 國
二五	二九	四三、〇九	四三、一四	五八、五三	四九、三二	五三、一九
二五	三三	五三、三八	五三、三一	五八、五四	五八、三二	五四、五三
二五	三七	五七、四二	五七、三九	五九、五二	五九、三五	五六、九八
二九	三九	五九、四四	五九、三九	五九、四二	五九、三六	五四、一〇三
二九	四一	五九、四四	五九、三九	五九、三九	五九、三五	五四、〇三
二九	四八	五九、四四	五九、三九	五九、三九	五九、三五	五四、〇三
三三	五三	五九、四四	五九、三九	五九、三九	五九、三五	五四、〇三

之れに依つて見ますとスエーデンの男子「五四。

スエーデン

英國 日本

五三年」に對し吾が「四二・一四年」女「五六・九八

○ 歳 男 九二・六

一六一・五

年」に對し「四三・〇九年」は餘りにその差が甚だ

一四二・三

一四二・三

しいではございませんか。

一〇歳 男 六・四

一〇・八

明治四十一年から大正二年迄の平均が内閣統計

女 五・三

三・八

一一・一

局からその第三回發表として發表せられました

死亡率が多ければ平均壽命は少くなり、死亡率

一二・一

に依りますと、男子四四、二五 女子四四、七三
となつて居ます之れに依りて見ますと第四回の發
表に於て男子は三、二を短縮し、女子は一、六四を
短縮して居ります、大正十四年後昭和の今日に至
るまで果してどの様な勢になつて居りますか、舉
國一致、大に覺悟し、努力しなくてはならぬ時で
ございます。

之れと同時に死亡率は年次高率を示し、現在に
於ては乳兒及青年の率は世界一を示して居ります、誠に國家として由々しき大事で御座います。

腹筋許りではないのでございます、「近頃の人の腹筋は十年
も前の人のに比べてその半分の厚さしかない」と
いふ事をきこました「筋肉がやさ衰へる」たゞに
云ふに及ぼす内臓諸器特に大切な心臓も亦同じ運
命になふものでございます。

道を行くに車あり、指先きの力で水は汲めるし、火は燃える、文明の進まぬ以前は人も他の動物に近く何事も各自の體力一つで處理しなくてはならなかつた。その時代に於きましては、知らず識らず運動し自然に體育に叶ふ生活をして居たのでござります、猛獸と鬪ひ又水草を追ふて流浪した私達の祖先は自然兒でございました、天のも恵みは直接に且豊かでございましたこの自然の兒は、象が牙を以て他の動物を征服しましたやうに、漸次其の秀れた脳髄を以て他の動物を征服し盡し、今日見るやうな文明を建設致されました、然るに文明の進むと共に、前途のやうに手を動かす事もなく足を勞する事もなく脳髄が作り上げた器械がこれに代るやうになつて參りました、今日の都會に見るやうに足黒土をふむ事なく、米國の一都で見るやうに漸次人が空中に住むやうになつて参りました、高層に住む自然に對する叛逆の子を外國

にたづねるまでもなく眼の前に赤ん坊を人工の乳で育てゝ居ります、その昔の自然兒は今や自然をはなれ自然を征服しやうとして居ます、文明とはある意味からいへば自然を裏切る事であるといふ事でござります、自然に叛いては生物は到底長く生存する事は出來ぬと申します、文化生活をしながら生命を安全にしかも強健に保つ事は困難でございます、文明は人間に便利を與へその身體を樂にしました「つかへば太る、つかはねばやせる」といふ人間の身體の法則に依つて樂をしてつかはぬ身體はやせ、其の機能は低下致しました、かくして文明は人間をよわくして今日に及びました。

文明と體育との關係は實にこゝに產れます、當今文明諸國夫れぐに特別の體育法を考へ行つて居ます、國をかけての仕事であり、國を擧げての體育でござります。國の力は民の力がもとでござります、伊太利も、チエコスロバキヤも、大につ

とめて居ります。戦後特に「體育はドイツ公民の義務である、又體育の獎勵は祖國に對する奉公である」と心得て居るドイツは勿論、佛蘭西、ルーマニヤ、何れの國も體育については國家が考へて居るし國民がつとめて居ます、體操の本場スエーデンの國立中央體操研究所に髪の黒い美しい土耳

古の娘さんが英佛語をあやつりながら日夜眞面目に研究して居られました、國字の改良、その他萬般に存分の改良を見せてゐるトルコが此の後どの様な體育方向をとらうと致しますか、刻苦の丁抹も體操國となつて四隣の人の注目をひいて居ります、古來スポーツの國として知られて居る英國も特に深い研究から體育の方策をたて様としてゐるやうでございます、金力と人力とにあかして亞米利加は體育を試みて居ります、スイス、自國語を持たぬと申しますスイスにも體操祭は、堂々として行はれて居ります。

幼稚園に素人の私は先生方へ御報告申上げ少しでも御参考になりますやうな事を申上げる事の出来ませぬのを御申譯なく存じます、一般を申上げます事に依つて幼稚園のあらましを御想像下さいませ。

露國が子供は國のものであるといつて居るのは既に御存じの通りでございます、伊太利に於てはその親に事情があつて自分の子ながら育てる事が出来ませぬ場合は政府が之れに代つて育てます、子供は國の礎、國の寶で御座います、何れの國に於ても大事に致して居ます、歐米各國都市には子供の遊び場が至る所に御座ります、公園内は勿論街のあちらこちらに特別に設けられた子供の遊び場があります。ほんの砂場がある位の所もあり、よく設備してあるのもあります、室内の遊び場……遊びの家もあります到る所無數にあるといつてもいい位でございます、家屋の都合がよく出來

て居るといふ點もあり他にも關係が多々あります
が赤ん坊は乳母車にのせられて一日の中に時間を
定めて日光浴に連れて行かれます、散歩をさせら
れます、少しだきくなつた幼児も同断で御座いま
す、乳母車をベンチの側において自分はこしかけ
て編物などをして居る人を澤山に見受けます、伯
林などには赤ん坊に體操をさせる所が御座います
学校へ参りますまへの子供に體操をさせて居る所
……學校のやうな……があります、又生命保險が
發達して行き渡つて居ります、生れると直ぐ加入
する事が出來まして、加入しますと會社から枰ま
で貸して貰へるそいでござります、高い學問はな
くとも、總てに合理的な生活をする手腕を持つて
居る實際的な獨逸の婦人は特に育児、臺所の事、宗
教の事は女の大切なつとめと心得て居ります、こ
の婦人は凡てに子供の状態に留意しその重さをは
かり不合理な事のある時は早速に會社の醫者に見

て貰います、會社の御醫者様は、早速に診察授藥
します、普通醫者としての務の外に、會社の經濟
に關係する事でございますから特に早く丈夫にし
て一日も長く生かせる様に骨折られます、日本人
は眼でものをたべますが彼の人達は頭でものを食
べるといはれてゐるほど科學的合理的な食事をせ
られます、安價で且榮養價の高いものを食べます
ともかく子供はかくしてすくすくと育つて行きま
す。日々の生活を規則正しくし、身體の各部分が
均等ひよく發達して行くやうにつとめます、生れ
てから絶えず注意し肥え過ぎもせずやせもせず、
骨骼もよく發育し、筋肉の發育も四肢五體のつり
合ひもよく、心身の調和もよくそれた育て方をし
ます、僅か小學校を出た位の婦人でも善事にこれ
位の事はして行かれます、子供の抱き方其の他な
か／＼やかましいものです、膝の曲つて居るやう
なのが發見されたら直ぐ手當をして外人の脚に見

るやうな眞直な美しいのになる様に手當をします。こんな氣をつけるのですから、死ぬお子達はよく／＼なので御座いません。子供の遊び場へ行くと砂場などでよく遊んで居ります。親達は側の腰掛からながめて居ります。日本は子供の國です、電車でも汽車でも子供が来さへすれば大人は立つて席をゆづります、外國ではそんな事は餘り見ません、近頃は日本でもだん／＼規則正しい子供の生活が行はれて参りましたやうで御座いますが、夕方時間が参りましたら寝臺の上へねかされてします。子供もそんなものだと思つて居るので御座いません。日本と外國と何れかいいかそれは知りません、外國はかくて小さい時から獨立獨歩の習慣を躊躇られて行くのだそうで御座います、規則正しい生活に慣らされて行きます、話が亞米利加にとびます、然もあちこちを交せ合せて成程と思つた所のお話をいたしませう、これはシカゴの

お話し……そして今少しまへの話……子供が出来る様になりますと、月々の心得を市から姪婦に送ります、人間は誠に勝手なものでいくらよい事でも、必要が迫つてゐないと上の空でさゝ過し易いものでございますが、眼前に其の必要が迫ると勉強致しますし神妙に其の少しでも善なるものに従ひます一ヶ月目の心得二ヶ月目の心得臨月の心得と訓へられた通りにいたします、月満ちて産れます、目出度い家へは育児の心得が一冊ならず二冊迄も送られます、母親は子の爲めに本によつて教へられた通りに致しませう、かくて乳兒の死亡率は目に見えて減少したといふ事でございます、次に紐育で見たお話、米國は改めて申しますまでもなくお金持ちのお國でございます、お金持ちの人々が死なれますと、澤山のお金が市へ寄附されます社會的の仕事の研究の爲にとの事であれば、直ちに立派な研究品が出来ます、その様なものゝ一つ

へ参りました、そこへ行きますと、それ／＼の専門家が居られましてそれ／＼の相談につてくれます、衛生の方へ参りますと衣服の事食物の事其の子其の子に適切な指導をしてくれます、来る事の出来ぬ子供の家へはそこから出張します。

学校へ行く様に成人しますと、学校では、先生が質問せられたり、實地にしらべたり、子供相互にしらべあつたりして清潔整頓を訓へ或は衛生的な訓練をします、飲食物の注意もします、日本の様なわざ／＼らしい體格検査は餘りしませんが日々子供の状態に留意して直ぐに手當をします。病氣の子供は市の衛生局の方へ添書して送り、病全癒の證明のあつた後に一般の子供として取扱ひます、特殊の子供は夫れ／＼に扱ひます、例へば近視眼の子供はその程度に依り特別の學級に收容し特別の教科書を持たせるやうにします、萬事に絶えず氣をつけて其時直ぐに手當をして行きます

米國では社會一般に公衆衛生、豫防醫學、食品科學等、そういう方面の事が進んで居ります、野菜、果物、水等生の儘で頂いても絶対に安全だぞうで御座います、黴菌などは一匹も居ない由で御座います。日本で種痘を致しますやうに學童はチフテリヤの豫防注射をするそうで御座います、必要だとなれば、どんな困難があつても必ず致しどげます。家屋が櫛比してゐていけない、青々とした廣い所がなくてはならぬといふ事になりますと高い建物を思ひ切りこわして豫定通りに致しまひます。目貫の街の電車線路の兩側が大分長い間どうはらはれてゐるのを見ました、眞面目です本氣です、する事が實際に即して居ります「醫者は病人を治すものなり」とは日本人の考へです、醫者は病人を作らぬ様につとめ、萬一不幸にして罹病の砌は其初期に於て早く治してしまひます、澤山の支店を持つて居るチャイルドといふ食堂で

は、その日々の献立表に幾カロリーといふ事が附記してあります、それに依つて皆は注文して居るやうです。女子青年會等に行きますと料理を教へて居りますが、漫然と料理を實習するのでは御座いません、爲にするその人の食物の材料及び調理法を教へて貰ふので御座います、又こゝに自働秤が御座います……勿論こゝ許りでなく又亞米利加許りでも御座いませんが序故に……それにのりますと勿論相當の所へひとりで針が動きます、扱問題はそれからで御座います、私が私の重さをたゞ重さとして知つた丈けで何となりませう、それが私に相當して居るかしてゐないかといふ事が問題なのでござります、やせ過ぎて居るのがいけないやうに太り過ぎて居る事はよくない事で御座います、自分に必要な……私共體育の道にたづさわる者は心得て居りますが一般の方はいかゞでござりませう……皆様方は御存じであるらつしやいませう

か……こゝでは見易い所に身長とのつり合ひの標準をかいて掲示して御座います、そして所に依りますと、頭を廻せば何かゞ下つて居りまして字をよみますとおまへの眼の高さがあまへの身長であるとかいて御座います、その身長と體重とその比較表とを見て自分の關係が丁度よければそれでよし悪ければ相談すれば教へてくれる所が御座います、食物についてはさつき申上げたやうな所に行けばよろしいし、運動其他、生活を改めるやうに教へて貰いに行く所はいくらも御座います、その様な食物をとりその様な運動をし、その様な生活をして理想的な身體を作ればよろしいので御座ります、萬端の事が都合よく整つて居ります、又これを巧に利用致します、この様な社會に幼稚園がございます、その幼稚園の立場を御考へ下さいませ。

ローマで見ました幼稚園。特別に幼児を體操室に連れて来て見せてくられましたのでその可愛い人の園での自然な生活を見る事が出来ませんでした。女許りの小學校と併立せられてゐました、勿論園長は女で御座います。して見させてくれました事は餘り珍らしい事ではございませんでした、合唱隊がうたいますとうたに合せて何かしました。花を頭に頂いた子供があちこちに立つと合唱隊の歌に連れてやがて蝶の羽根をつけた可愛い方が出て来て花の間を五六羽もとびまはります、唄は伊太利の本場です、軽々と舞ひ踊るがたはさすがに美しく御座いました、その様な事は大した御報告の價になりません。この校醫は隔日に出張して来られます、生徒はその校醫のまへを通ります、専門的な慣れた眼で調子の悪い子供を見分けまして或は家にかへし又は手當てをします、必要に應じ職員小使迄をふくむこと勿論……季節衛生その

他の講話をせられます、先生方はその事を生徒に傳へその實行を監督します。幼稚園を見ませんでしたが小學校の方の教室を見ました。各自のタオル石鹼、齒磨楊子、齒磨粉、コップ等を入れる特別の設備があります、中に各自の場所に規則正しくそれ等のものが整頓されて居りました。必要に應じ使用させて、良習慣を訓へ作るので御座います。幼稚園時代に善い習慣を習慣づけて頂き度いと思ひます、善良な習慣が確立致しますと無意識に手間隙かららずによい行ひをする事が出来ます。よい習慣は子供の時に养成するのが一番よろしう御座います。私共は習慣の束で御座います、よい習慣が出来てしまへば一生幸福で御座います、三つ兒の魂百迄のたとへ、白地に描く一字一劃、幼稚園の御仕事は其の子一生涯の礎であり誠に生涯を支配するもので御座います。我國でも此の上とも體育的衛生的な良習慣の養成に當られたいと思ひました

伯林のペスタロツチフレーベル館へ参りました、一度は參觀日でなかつたので歸りました、次に許された參觀日に行きました、園内を一巡いたしました、赤ん坊から預つて育て、居ります、傳染病などは仰山に取り扱ひます、其時もハシカの子供があるとかで出入を禁じて居た棟もありました、部屋部屋を案内してくれました、幼兒は食事中で御座いました、あちらこちらをまはつて居る間に食後の午睡に入つた由で幼兒の授業は見せて頂けませんでした、幼稚園の仕事を直接にして居ない私は斷られ見せて頂けなくて満足してかへつて來ました、手洗ひや便所のきれいなのは何も幼稚園に限つたわけでも御座いませんがそれを今更のやうに快くながめて本だと繪はがきなどを買つて事務員に送られてかへりました、繪端書の中に幼児の誕生祝ひがありました、それを見ながらよろこんでかへりました。紐育のコロンビヤ大學附

屬の幼稚園を見ました、例に依つて園内拜見、問題を持たぬ私は見るだけ見ました、實は先生方の御まへに立つ資格の無い私で幼稚園を幼兒として通ひました外も茶の水の(女高師)體操場が幼稚園に近かつたのでよくち子様方と遊ばして頂いた外何の智識もありません、こゝには廣い部室のまはりに戸棚が澤山について居ましていろいろの御道具が入つて居ります、部屋の一方には大きな積木の家が建つて居ます、子供が自由に出入りが出来ます、又一方には、室内的砂場があります、其片方で先生が三人參觀に来て居る母親らしい方も幼兒に交つて遊びをして居られました、一人の先生が話されると、お話を中に出て来る人と同じ名の遊戲者は立つて自分の椅子を一まはりする遊びであります先生も立つてまはれば、母御さんもまはられ、かなり長い間その遊び許りをして愉快らしくしておいでになりました私は間もなくあきました、の

で無遠慮に室内を歩きました、春夏秋冬遊ぶといふ事は子供の仕事で御座います仕事である以上一日も怠つてはなりません、雨だから暑いから、塞いからとて出来ぬやうではいけません、私は、この室内の大きな砂場を見て悦べました、話に聞いて居た大きな積木の家を見る事が出来た事もうれしく思ひました。

こゝらの幼稚園はさきほど申上げましたやうによく耕され整理された社會といふ體育の畑の上にたてられて居りますので、日本の様に幼稚園丈けが懸命にならなくて全體がよくすゝんで居りますので、其點、日本幼稚園の先生方の御骨折を誠に御苦勞に存じ上げた事で御座いました。

先月の新聞で猩紅熱の児童が平氣で登校して居た事實を見ました、東京市内の小學校の二年生四年生の發病に際して學校を検べましたらこの事實が判明したとの事で御座います、此の時代には屢

々いろいろな傳染病に犯されます、所謂學校傳染病で御座います、幼稚園や小學校の御土產に、麻疹、水痘、などを持ち歸りまして家の幼き者に分配する事はよく聞く話で御座います、御如才もなく御注意の事とは存じますが、季節、其他衛生上の注意、等は印刷にでもして家庭へも通知し、無神經になつて居るの方々へも注意させ、先生方御自身も反省の材料とせられては如何かと存じます、近來東京方面でもよく學校が注意して下さるやうになりましたが、僅か年に一度の身體検査でそれも所定の用紙に書き入れる丈けで親許に通知し、親許では一覽して印を押し先生の御手許に御返し申すといふ御役目的、機械的なのが未だ多く多いやうでございます、今少し健康診斷の回數を増し、眞に子供の爲に考慮をめぐらし其の通りに實行もし實行させ度いと思ひます、幼稚園の子供時代は人生の安全な時代で死亡率も割合少い時で

ございます。

此の時代は智識の發達から見ても精神修養の上から見ても社會的に考へても最も大切な時期であるやうに、身體の發達から見ても、乳齒と智齒の入れかはりのはじまる前で、大切な時であります子供を育て又取扱ふ經驗の大にあらせられる方も醫師其の他教養のある人々と協力し經驗と學術とをかねて心身のつり合ひのとれを發達をはかつて行き度いもので御座います、先日來私は幼稚園時代の子供の身體方面について知り度いと思ひあちこち致しました、要領が悪かつたせいか材料を得る事が困難で御座いました内閣統計局から發表の死亡に關する表でも五歳より九歳迄と一束になつて居ます、どの様な病氣に多くかかるかといふ事もしらべて見様と致しましたがなかなかわかりにくう御座いました。各幼稚園、小兒科の病院、家庭等が協力して調査し、參考資料を作られる事は必要

である様に存じられます、小學校の方も餘り多くは御座いませんでしたが、縣で、調査が行はれ其の結果が發表せられて居ります、小兒科の御醫者様で親切に教へてくれた方は、學校傳染病は別として東京にはやはり腺結核などが多い、其外は軽い程度の寒冒とか消化器病が多い」といはれました「腺結核に對しては如何やうにしたらよいか」といふ問ひに對して「やはり抵抗力を強くする事である」といはれました、其他の病氣は子供を育てる任に當つて居るものゝ一寸した注意に依つて、かゝらせなくてすむ程度のもので御座います。

ともかく此の時代の衛生のよしあしは其の人の將來を左右します、其の時に直接結果が顯れるものではありますんが成熟期以後に顯れます、生涯に關係を持つ事を考へねばなりません。

私の聞いた父兄の聲で私の大に同感致しました一つは「幼稚園の子供を餘りいそいで文明の中に

引き入れ様となさらぬ様にお願ひし度い」といは

浴さしめよ。

れるので御座います。吾々より先きに文明に進んだ諸外國では、今頃あらためて自然に逆戻りして居ります、日本の萬葉時代に見る様に自然に親しんで居るものゝ心は長閑で御座います、そしてあたゝかで御座います。土に親しんで居る人達は逢ふからに朗らかで人情味が豊かで御座います、逢ふとも天氣の挨拶をまづ致します。山に親しんで居る人同志の心境眞裸の世界の純情さ、人間はやはり自然の子であつた方が幸福で御座います。黒土をふませず、先生が親様が愛する子供を自然から遠ざけて身體を弱らせておいでになります。又澤山の黴菌を散布して人間も互が人間の住む世の中を汚し合つて居ります、文明へ文明へと大人達親達は足を空にしていそいで居ます、野蠻の父祖により近い生活を營み得て居る子供を少しだでも久しく土に親しませよ、せめて子供の時代の恩恵に

「なか／＼英斷が入りますよ、今來客のある時、砂糖氣の乏しい瓜もみも出せませんしね、子供に甘いものを無暗に與へるな、といつても、家内がなか／＼そうしません、それに、やはり、世の中へ出る關門を通らねばなりませんので、わかつてゐて、いゝにちがひない事をする事が出来ませんね」こゝにこそ、先生の現在の御研究が必要なやうに存じます。

六五

九月、十月に於ける視察

東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一

九月から十月にかけて、幼稚園に於ける幼兒の生活も中々多事になる。今まで残つてゐた暑が次第に涼風と變じ秋雨が降る日も少くなくなる、時には暴風雨になることがあるかも知れぬ。晝は次第に短くなつて夜が次第に長くなり秋分の日に晝夜平分となる、秋の彼岸の中日は秋季皇靈祭の日で、幼稚園は休日となる。今年は日曜と二日續となる。秋分の日にならぬ前に月見の夜がある。澄わたる空に満月が輝く下で月見の團子をいたゞくも幼兒の樂の一、晝は次第に短くなり夜は次第に長くなる。秋の夜長に鳴く虫はこぼろぎか、太陽は次第に南を通るやうになつて大變に涼しくなる。九月にはどこでも秋の祭がある。お神輿は幼兒にも元氣がつく。十月に入るとやれ遠足やれ運動會で幼兒の心も大變にいそがしくなり元氣も出る。「僕が一等だ」と威張りたくなるし、「赤が勝よ」と小さな心にも口惜しさが浮ぶ。その間に自然は刻々に變化して行き觀察すべき事物がいろいろに展開する、お月見にもお祭にもいろいろの觀察すべきことが多い。保育室できれりにあ話するのが觀察ではない。觀察はどこまでも幼兒の觀

察幼兒の樂しい生活内容を豊富にし充實させる觀察であることを念頭に置くことが何時でも吾等供母が努むべきこと。

二

夏から秋にかけてだん／＼涼しくなること、これは寒暖計で測らせるといふのではない。毎日晝が短くなつて夜の長くなること、これも時計で測らせるのではない。日出や日没がだん／＼南にかたよることこれも磁針で測らせるのでなく杉の木とか何か目標となるものに比べての話、いろ／＼手近かな仕方では等に注意させることが九月十月の觀察の一。

雨が降れば、風が吹けば、共によい觀察事項。雨の種類だと成因、だとまだ風の強さによる分類などは勿論説話するのではない。雨がどんな工合に降るか風がどんなに吹くか木の葉がどんなに動くか旗がどんなになるなどを觀察させるのでこれも九月十月に於ける觀察の一。九月は一年中最も雨量が多いのが東京の話、それで折角の月見もお流れとなることが多い。尤も月見は九月十月に限つた事ではないが暑からず、寒からず澄わたる夜の空が天空の觀察には便宜なところから自然月見は秋の行事只月見／＼で騒いだりいろ／＼のものを食べて腹をこはすが關の山でなく幼兒から月の形の變化星の位置などに注意をさせたきもの、三日月が一月に二回あると思ふ人、上弦の月と下弦の月とどんなに違ふか知らぬ大人よりも幼兒はよく觀察するものであるから勿論月について變な説明などはせぬがよい。只どんな

になるかを觀察させ若しいろ／＼と質問すれば幼兒が納得し得る程度の解説が肝要、それで月見も幼兒生活に於ける重要な觀察の一、しかし保育室で月見をさせぬやう、勿論夜の保育は禁物なれば晝の月見は出来ぬ相談、出来ぬ月見を堂々と保育室で「今日は月見の觀察をいたしませう」と切口上で目的提示とやらをやらかす人がそこらにないとも限らぬからの老婆心。尤も月見の遊び仕方は結構。お團子はこしらへなくとも、すゝきをとりに行くもよければそのすゝきてみみづくをつくるもよい。また奮發して新粉でお團子をつくらせるならば一層面白い企、幼稚園のお團子は粘土細工と限つたものでなく、お新粉にて團子をつくらすべからずといふ施行規則もない筈。

三

秋は遠足、遠出はならぬ。幼兒が往復徒步で疲労を感ぜぬ範圍内で遠足の多い程結構。保育室でなくば保育は出來ぬといふ迷信あらば須らく打破するがよい。遊戯室でないからお遊戯が出來ぬ。オルガン、ピアノがないから唱歌が出來ぬといふ文句は棚に上げて置くがよい。秋とんぼがスー／＼ととび、ぱつたがはねる秋の草原、案山子にあはれた雀がバツと飛下れる雑草の中で手の舞足の踏むところを知らぬ秋の幼稚園最良の保育、秋の青天井の下で自由にかける遊戯、バツタと共にねるダンス、いろ／＼の草花が咲いて居れば尙更結構草花がなくとも雑草も、その實も悉く觀察の材料、遊びの道具お辨當持て敷莫座の上でいろいろ／＼の草花でまゝごと遊がどんなに愉快で幼兒の生活を充實させることでせう。陰氣な保育

室に於ける保育と、それこそ雲泥の差でせう。或る時は花壇の傍に莫産敷いてお辨當を開くだけでも幼兒には大遠足になる。稍刈る親達の附近に行つても辨當を閉くもよい。無理に電車に乗つたり自働車で行かねばならぬ遠足は幼稚園での遠足ではない。保育にならぬ遠足は面白くない。秋の柔い日光を浴びて新鮮な空氣を思ふ存分吸つて子等は益々發育し發達すれば申分がない。その間にとんぼも觀察の材料となれば蜘蛛もいなごもばつたもけらもまた觀察の材料となる。燕は何時頃からなるくなるか雀はとんばに穀物を荒すか一本脚の案山子は何をしてゐるか、案山子にとまる鳥は何をしてゐたか稻を運ぶ牛馬もバッタをねらふ猫も皆よい觀察の材料となる何を是非觀察させよとか何は觀察させてはならぬと幼稚園令にも施行規則にも一言半句も述べてない。只觀察の二字があるだけ。従つてどこでも幼兒の感覺器官を刺激するものが觀察の材料となり幼兒の興味を惹起するものが幼兒の生活内容を充實すればよい。こほろぎをとることが興味があればそれをさせるがよい。花壇茶園の青虫をとるものがあれば尙結構とんぼをとつてもよい運動。とれなければとれないでよい。運動であり遊びである只とんぼの腹を切つて喜んだりこほろぎを踏つぶして愉快を叫ぶ幼兒の殘忍性破壊性を本能とはいへ適當に指導せねばならぬ興味に任せてどんなことでも放任せよといふ精神ではならぬ。

とつたこほろぎは硝子鉢に砂を入れ金網か木綿布で蓋して飼はせるがよい胡瓜か西瓜の皮を入れて置けばよいがそれがなくば茄子を切つて二三片入れて置けばよい。ころくと鳴き卵を産む鳴くのはどれ

で卵を産むのはどれか。また青虫甘藍や大根菜類の葉を食ふ精虫それを捕へて廣口瓶に入れ脱脂綿でもよしガノゼでもよい蓋して置き菜葉を少重づゝ入れて置くと次第に成長して蛹となる、蛹が來年春蝶となるそれが面白く觀察出来る。とんぼのちつながりそれを追かけ廻る幼兒には早や性的芽生がある。この機會に性教育をなすとか「何です子供の僻になんて」いつて下らぬことを喋々したり、叱つたりするのは共に馬鹿な話、變に氣をまはしてやきもきせずとも幼兒の觀察に任せいらぬ教訓や説話はしまつて置くべきもの。

四

秋の草花にも觀察させたきものが多い。すゝき、女郎花、朝顔、桔梗、しづんにえぞきく、ダリヤにカンナ、ほうせんかにへちま、コスマスにけいとう等いろいろの草花が秋を飾るのであるからそこらに咲けるもの花壇にあるものを觀察の材料とせねばならぬ。是等は觀察の材料となり繪となり手技材料とせねばならぬ。幼兒の生活の材料としていろいろに利用し玩具となして遊ばせねばならぬ。玩具もこしらへて飾つて置くのではなく眞の玩具で遊の材料とならねばならぬ。また秋の果實これもよい觀察。ざくらうにいちぢく、葡萄に梨、柿に栗、なすにいんげん、さといもにじやがいも。いろいろの玩具にもなる。遊びともなり仕事にもなる。なすにいんげんの眼玉で豚が出來栗でくりく坊主も出來やう。いろ／＼と幼兒に工夫させると却つて面白いものが出来る大人がこんなになんて押しつけるに及ばぬ。じや

がいも掘りも面白い仕事。花壇の手入も幼兒に出来るだけさすがよい。時には先生以上にうまいこともやるが先生のち手傳をしたといふことが下手でもこの上もない樂「邪魔になりますよ」などとはねつけるのは宜しくない。

五

秋の收穫の有様をよく觀察させることが肝心。都會の幼兒には八百屋、市場の品物がどこから来るか知るだけでも大なる觀察。勿論話すのではない。ア、大根がこんなところにある。じやがいもは土の中にある。といふことを實地に觀察することが大切、吾等の食物がどこからどうして出来るかを實地に研究することが重要な觀察事項。そして幼兒は蒐集本能が次第に顯著になる年頃、いも掘りも結構。なすもさも面白い。出来るならば農園に於て何か採取させる工夫がありたい。ちぎつてはならぬ。折つてはならぬと叱るだけでなく思ふ存分採取させることも一年に二度や三度はありたきもの、それには秋が一番。栗拾が出来ればよし、たけがりが出来れば尚ほよい、これは十月に限つたことではない。十一月にも出来ることが多い。

真文規定告

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說
調査研究等の寄稿を歓迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字
下げる事と、また句讀點は一字あけること。
一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新
刊書、交換雑誌、入會手續、更に

本誌の購読及び廣告に關する通信並に照會等一切
左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵稅共）で願ひます。（郵
券代用の場合には總て一割増）
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七
二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せ
られたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特
に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雑誌の帶封
に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御
送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひ
ます。

定期	一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料	壹錢
半ヶ月分六冊	金貳圓拾錢	送	料	共
一ヶ月年拾貳冊	金圓貳拾錢	送	料	共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和四年九月十二日印刷納本
昭和四年九月十五日發行

幼兒の教育 第二十九卷第九號

不許複製	轉載	編輯兼	東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五
		行者	
		猪	
		堀	
		七	
		藏	

發行所 日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

東京市麹町區飯田町二丁目五十番地
印刷者 猪木卓二
印刷所 京華社印刷所

告廣	特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾圓	一頁以下御斷	

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

廣島高
等學校教
授

文學博士久保良英先生新著

菊判全一冊紙數六百頁插圖貳百餘
定價金六圓 送料金廿七錢

最刊新

實驗心理學子精義

復雜なる行動篇

實驗心理學子精義

行動篇

讀め輓近
異常に進歩
せる我心理
學界を最も
有意義的に
具體化せる
一大金字塔

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し、鋭意矻々として、實驗心理學の検討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇にて其の實著到一貫貽し、且つその結果相背馳せるものに對しては決して獨斷的私見を取らず、終始し所を周知する。又はせんとする所を総括する。如上關係

行動篇

行動篇

行動篇

上先生
士陽新生
著

兒童心理學子精義

十增訂

菊判全一百五十五圓
紙數一百五十五圓
插圖一百五十五圓
定價金八拾八錢
送料金七錢

上野先生
文野先生
士陽新生
著

れり本書は必讀を乞ふ就中文檢史論に分ち詳記され、是が精義を研究する正に十年その學に忠實なる世既に定評あり、今學界の等しく渴望して止まざりし本書は

發行所
東京市良町九番地
文中書館店
電話牛込三三三五番二四八八三東京營振



圖の「育教兒孤のツンタス」チツロタスベ

ペスタロッチの額面繪頒布 油繪原色版 (縦一尺三寸 横一尺八寸) 定價一圓五十錢

ペスタロッチは現代教育學の父として、又初等教育制度の創始者として、苟くも教育に關係ある者の必ず記憶する名であります。圖はペスタロッチの有名な「スタンツの孤兒教育の圖」で、原畫は瑞西チユーリッヒ博物館所藏、グローブ・ムントフエン原作、我國洋畫壇の泰斗八木熊次郎畫伯、先年歐米漫遊の砌、ペスタロッチの人格を慕つて親しくスキスに赴き、原畫につきそのまま模寫歸朝せられたるを今回フレーベル館に托して原色板に複製公表せられた珍しい額面繪であります。各園一幅御掲揚を御勧め申上げます。

ペスタロッチは一七八八年十二月、祖國政府の懲懲によつてスタンツ孤兒院長となり、年來の抱負經綸を傾けて新教育施設を編み出しました。圖は師が孤兒に囲繞せられたる圍繩の親しい光景であります。

額繪の裏面には詳しい解説と、ペスタロッチ年譜とが附録せられてあります。

發賣所

東京・神田・一橋通(帝國教育會館内)
株式
會社
フレーベル館

電話九段三四五・三六三七・三六三八
郵便 東京 一九六四〇